

楽天証券株式会社 2024年12月期上半期 決算説明会資料

2024年8月6日

楽天証券株式会社

目次

01 2024年12月期上半期 決算概要

02 2024年12月期上半期 事業の状況

03 戦略・施策

04 Appendix

目次

01 2024年12月期上半期 決算概要

02 2024年12月期上半期 事業の状況

03 戦略・施策

04 Appendix

2024年12月期上半期 連結業績

- 営業収益は総合口座数の堅調な推移やマーケット動向等により前年同期比で+18.8%

(単位：百万円)

	2023年12月期上半期 (2023年1~6月)	2024年12月期上半期 (2024年1~6月)	前年同期比増減率
営業収益	54,017	64,199	+18.8%
純営業収益	51,469	61,405	+19.3%
販売費・ 一般管理費	36,030	45,383	+26.0%
営業利益	15,439	16,022	+3.8%
経常利益	15,129	15,811	+4.5%
当期純利益	10,596	10,929	+3.1%

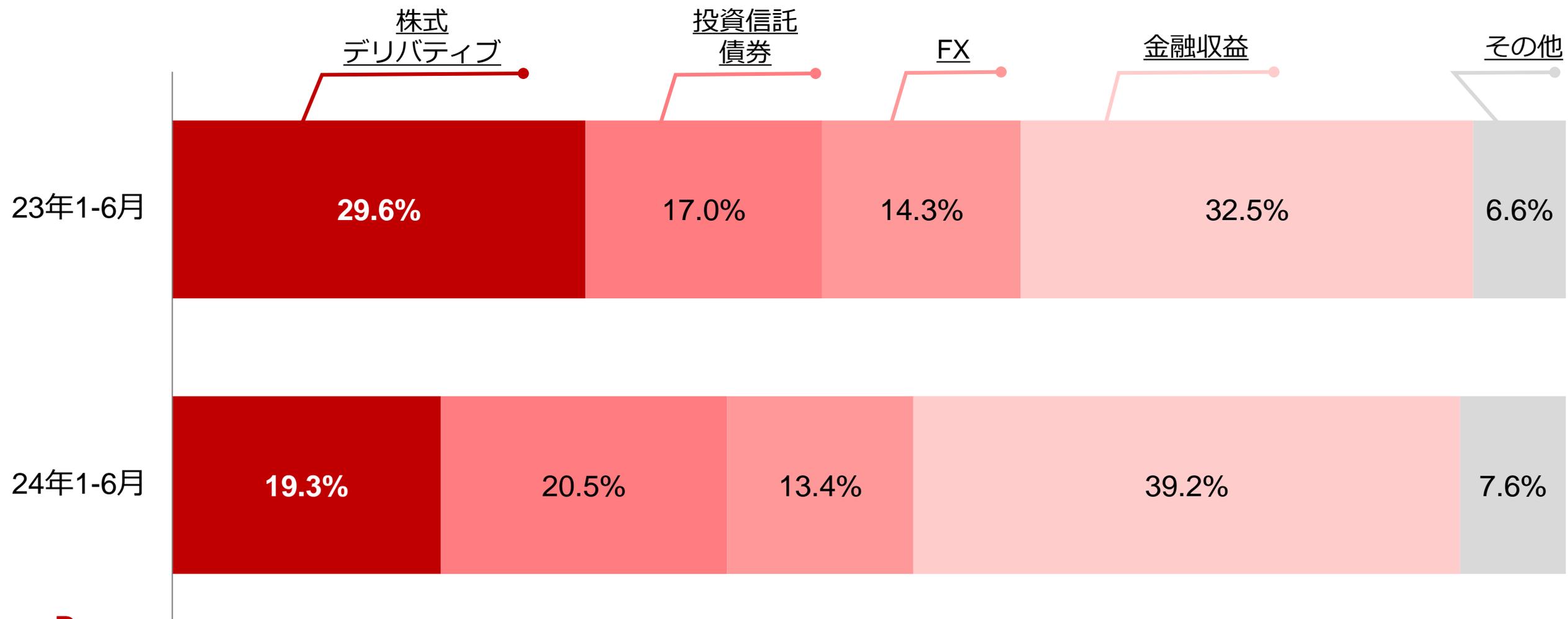
2024年12月期上半期 連結販売費・一般管理費

■ 販管費は前年同期比+26.0%

(単位：百万円)

	2023年12月期上半期 (2023年1～6月)	2024年12月期上半期 (2024年1～6月)	前年同期比増減率
販売費・一般管理費	36,030	45,383	+26.0%
取引関係費	18,827	26,796	+42.3%
広告宣伝費	4,547	6,764	+48.8%
人件費	3,808	3,730	▲2.0%
不動産関係費	1,052	1,198	+13.9%
事務費	6,267	7,160	+14.2%
減価償却費	4,884	5,165	+5.8%
その他	1,190	1,332	+11.9%

収益の分散化状況



目次

01 2024年12月期上半期 決算概要

02 2024年12月期上半期 事業の状況

03 戦略・施策

04 Appendix

2024年12月期上半期 業績ハイライト

総合口座数

1,133万口座

前年同期末比
+22.7%



新規口座数

115.6万口座

(2024年1-6月)

前年同期比
+89.8%



国内株式
マーケットシェア

34.7%

(2024年1-6月)

前年同期比
+2.8pts



信用残高

1.1兆円

前年同期末比
+34.2%



預り資産

32.3兆円

前年同期末比
+45.4%



投資信託残高

10.9兆円

前年同期末比
+85.2%



投資信託販売額

3.0兆円

(2024年1-6月)

前年同期比
+137%



投資信託積立設定額

月額**2,170**億円

前年同期末比
+99.6%



IFA預り資産

1.7兆円

前年同期末比
+39.8%



マネーブリッジ
利用残高

5.9兆円

前年同期末比
+18.3%



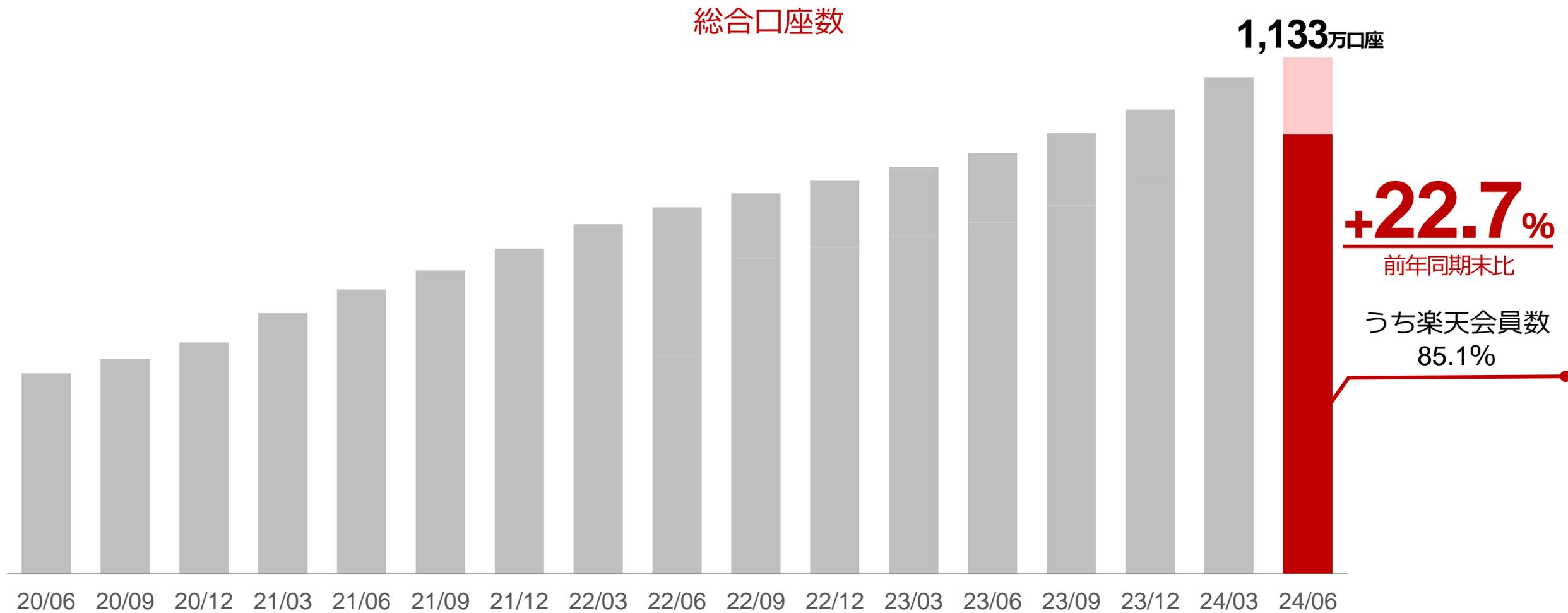
*2024年6月末時点



マーケットシェアの分母である国内株式個人委託売買代金は二市場+ETF及びREIT売買代金、分子は楽天証券の国内株式売買代金にて計算
投資信託残高・販売額は、国内外ETFを除く

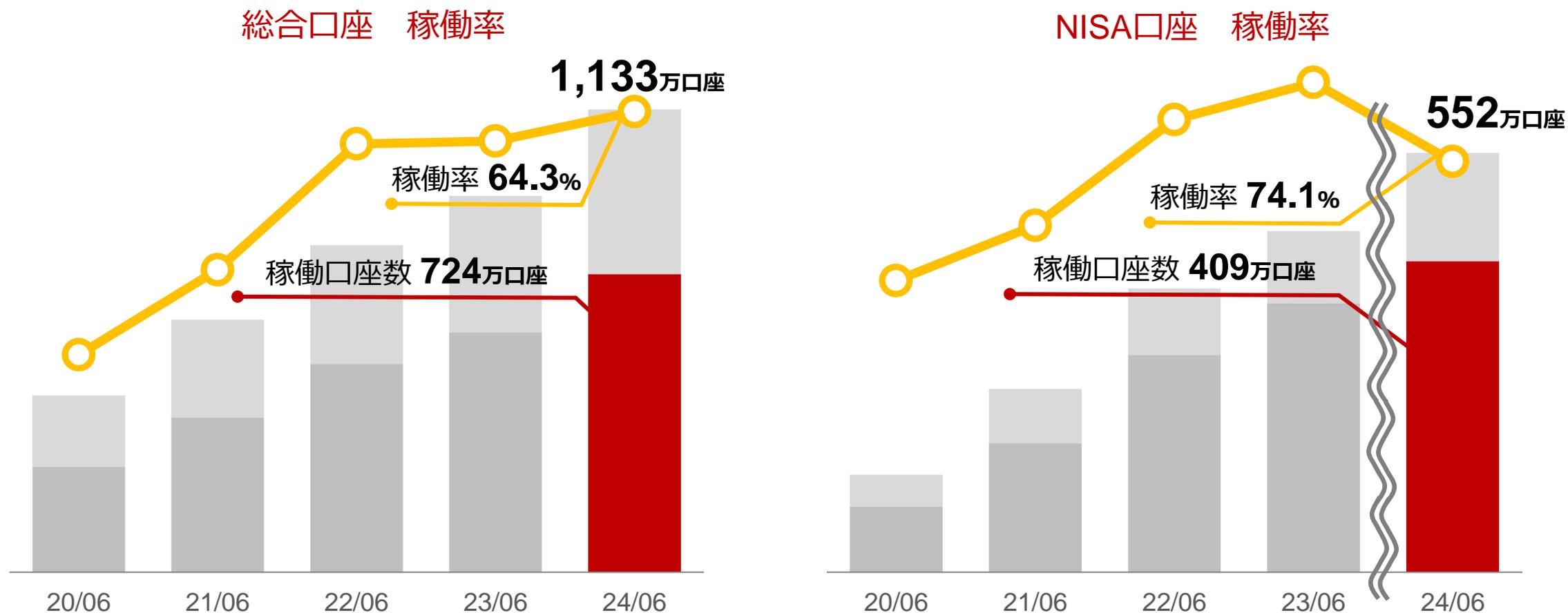
総合口座

■ 総合口座数は2024年4月に1,100万口座を突破



稼働状況

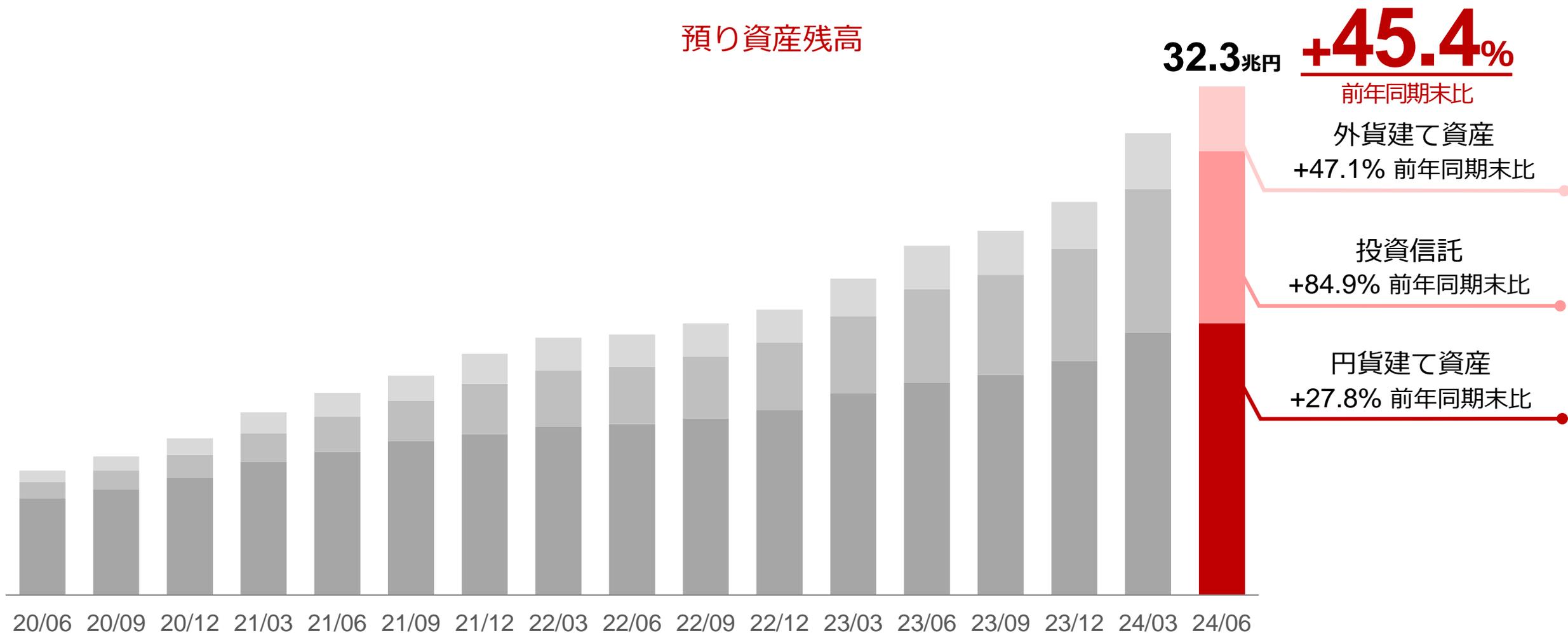
- 総合口座の稼働率は64.3%、NISA口座の稼働率は74.1%
- 多くのお客様が口座開設後、実際に資産形成・投資をおこなっている



*稼働口座：基準日から起算して1年間（NISA口座は基準日が属する年）に取引をおこなった、もしくは、基準日時点で残高がある口座

預り資産

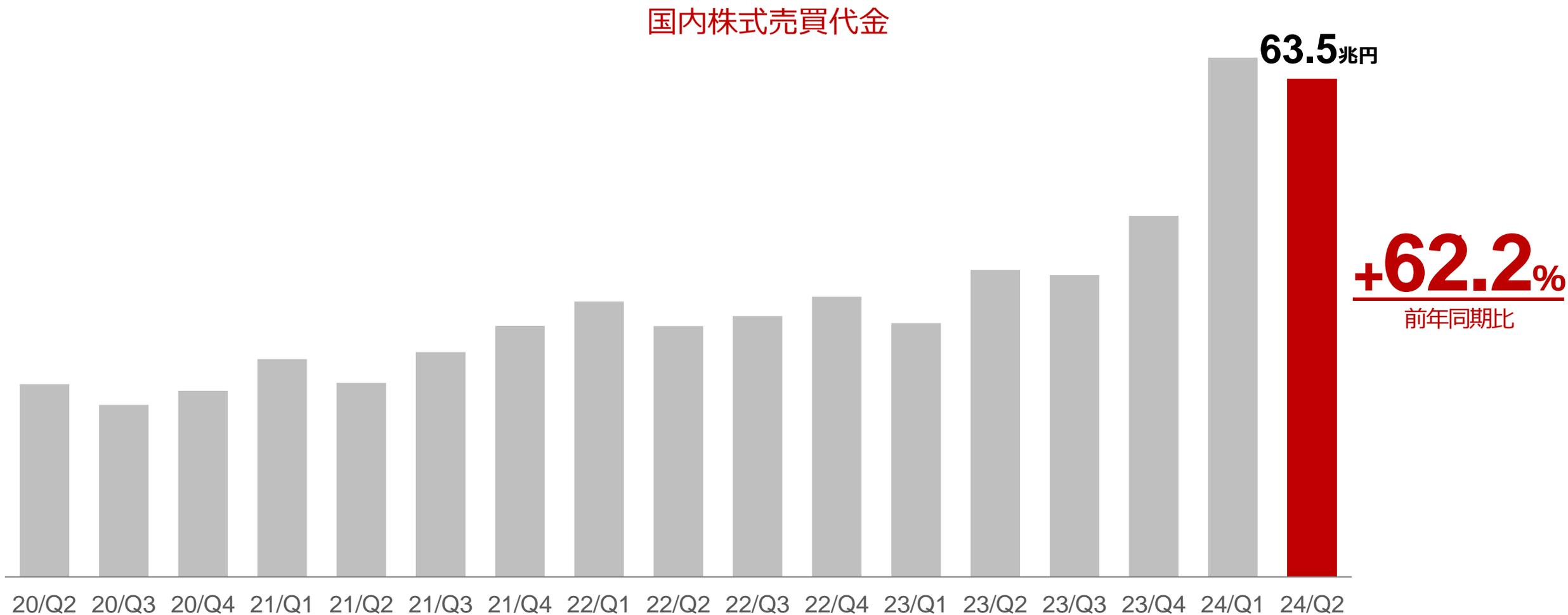
■ 口座拡大や投資信託残高の堅調な増加に伴い預り資産残高は32兆円超（前年同期末比+45.4%）に



R *投資信託には外貨建てMMFを含む。*円貨建て資産には投資信託を除く、楽天銀行マネーブリッジ自動スイープ分含む
*外貨建て資産には各種通貨建て預り金・外国債券・外国株式・海外先物証拠金（ドル建て）を含む

国内株式売買代金

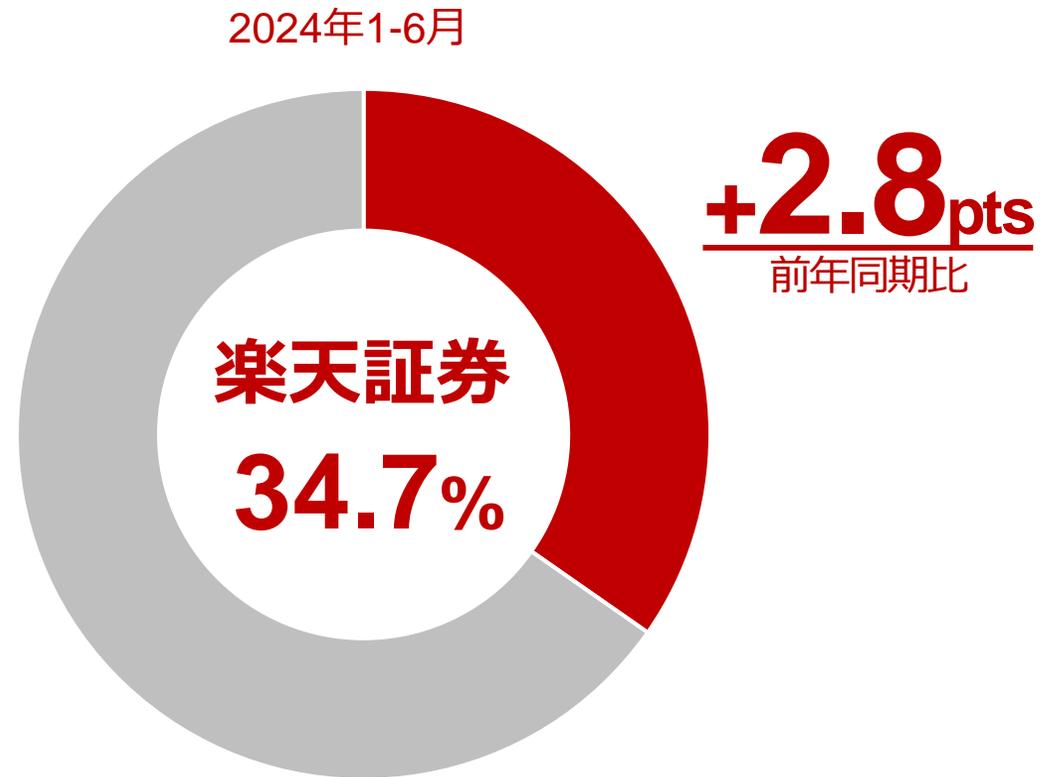
■ 委託手数料無料化および相場上昇の影響により、4-6月期は63兆円超（前年同期比+62.2%）に



国内株式 委託個人売買代金シェア

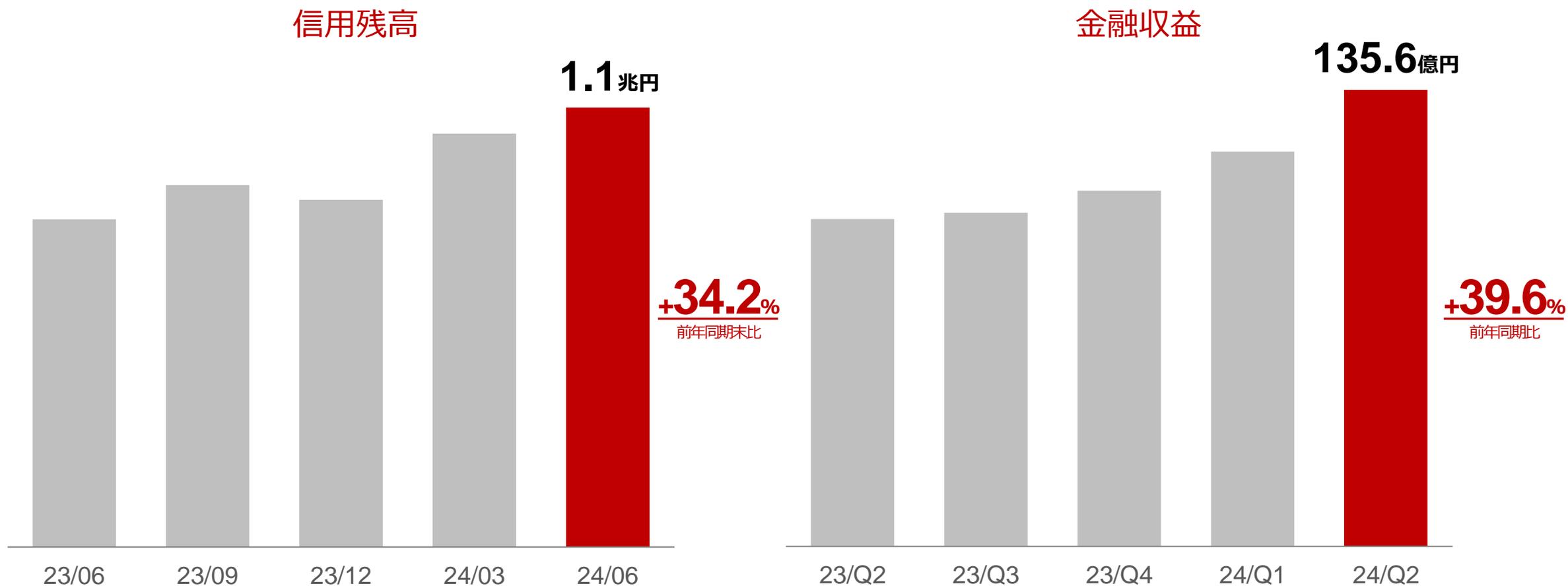
- 楽天証券の国内株式 委託個人売買代金の業界シェアは、前年同期の31.9%から34.7%に増加

二市場の個人委託売買代金などに対する楽天証券シェア



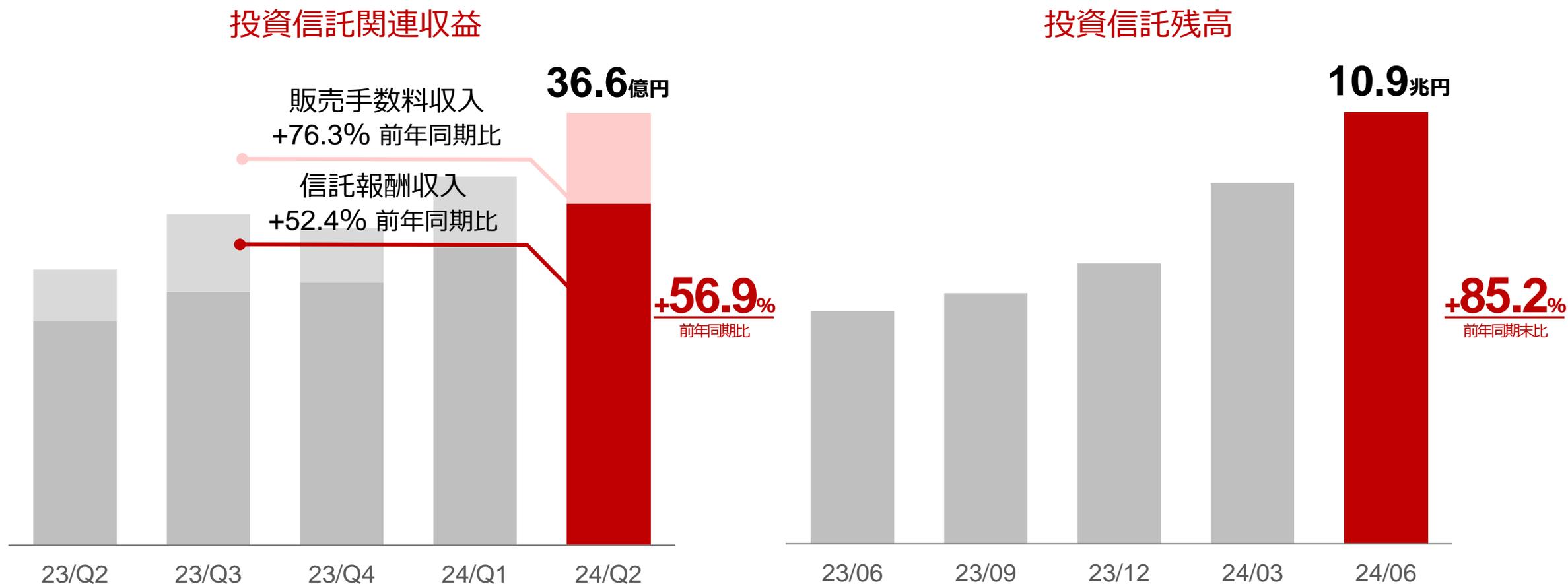
信用残高・金融収益

- 信用残高は、前年同期末比+34.2%の1.1兆円に
- 金融収益は、135.6億円（前年同期比+39.6%）と大きく伸長



投資信託

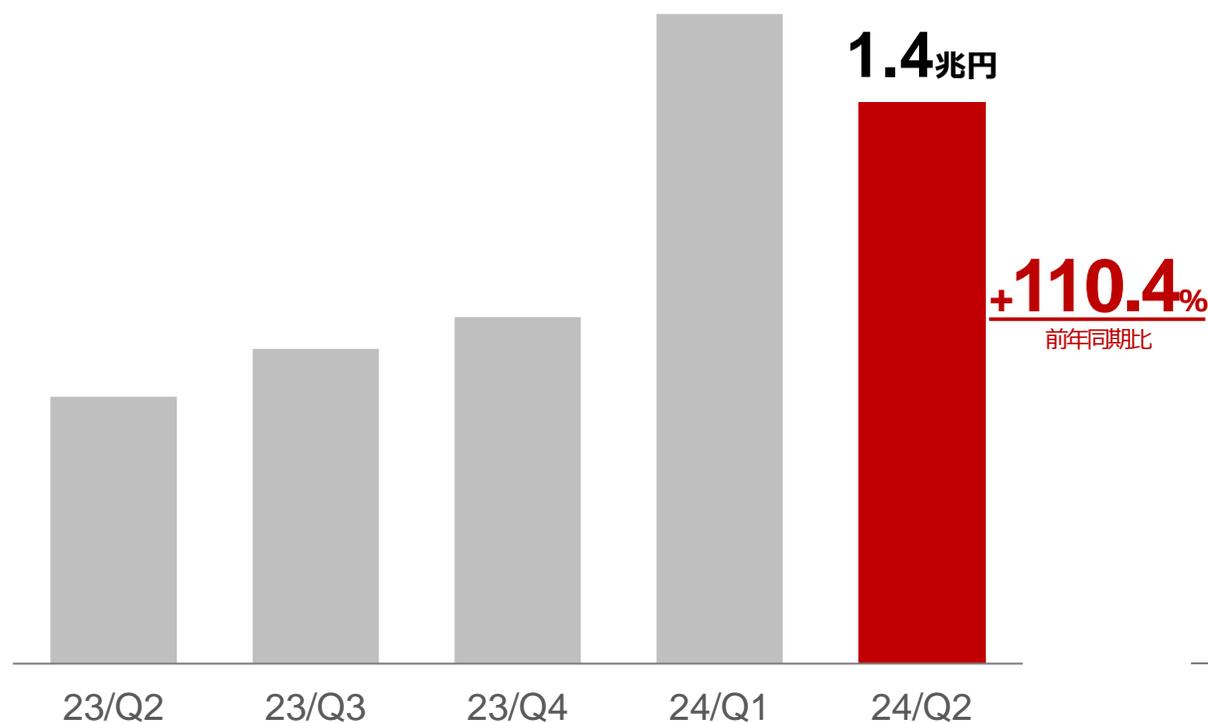
- 関連収益は、残高の堅調な増加により、前年同期比+56.9%
- 残高は、2024年5月に10兆円を突破し、前年同期末比+85.2%と順調に増加



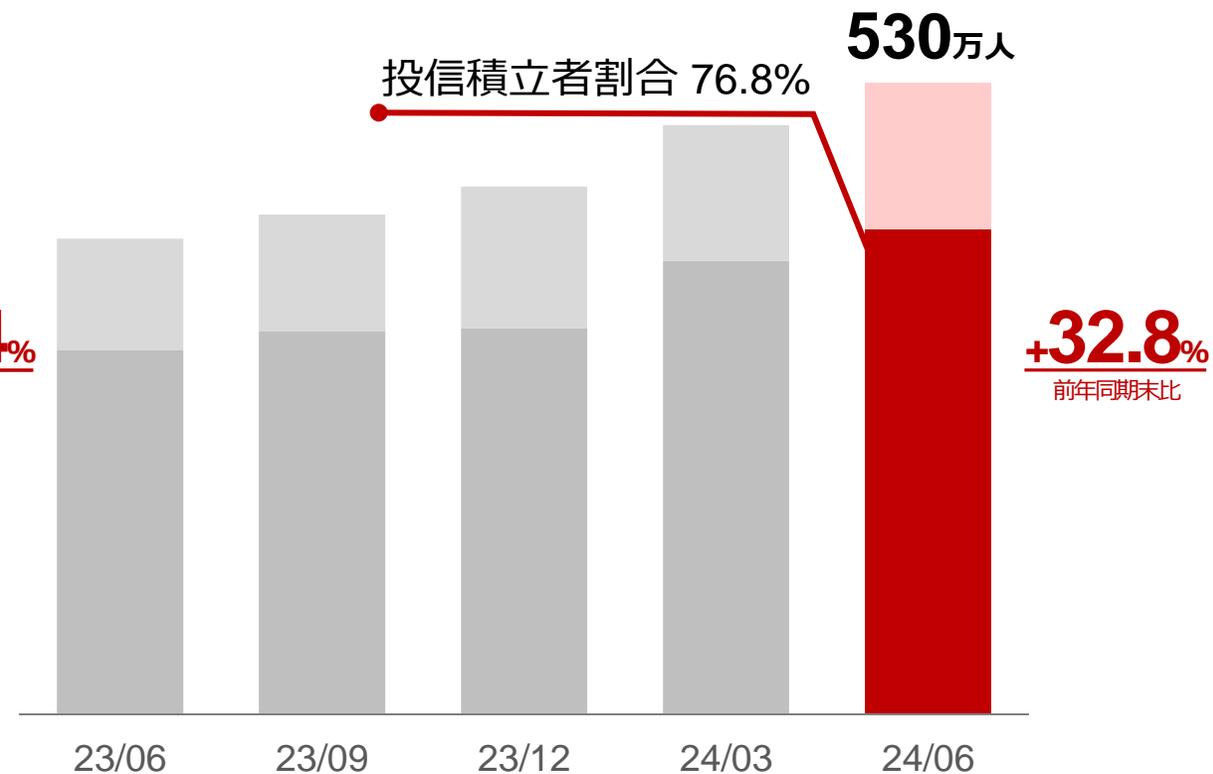
投資信託

- 販売額は、前年同期比+110.4%となる1.4兆円
- 保有者数は、前年同期末比+32.8%と530万超に（積立設定者数の割合は76.8%）

投資信託販売額

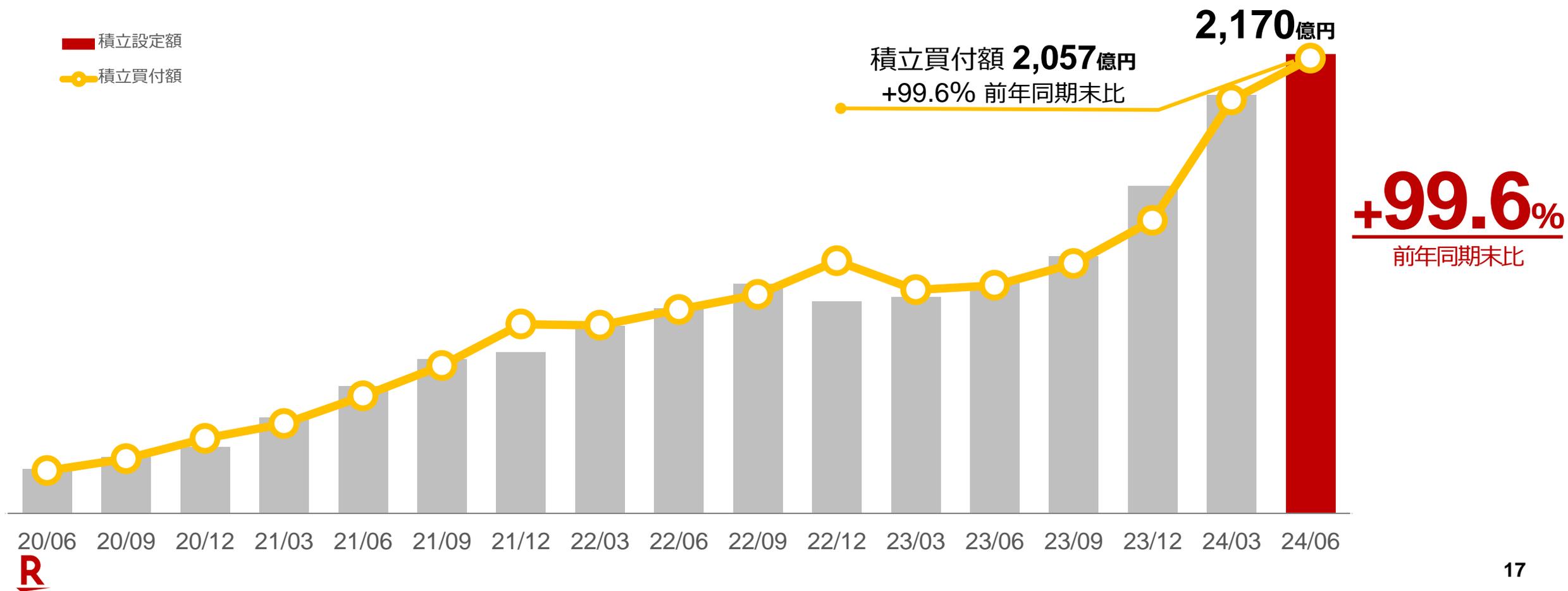


投資信託保有者数・積立設定者数



投資信託 積立の成長

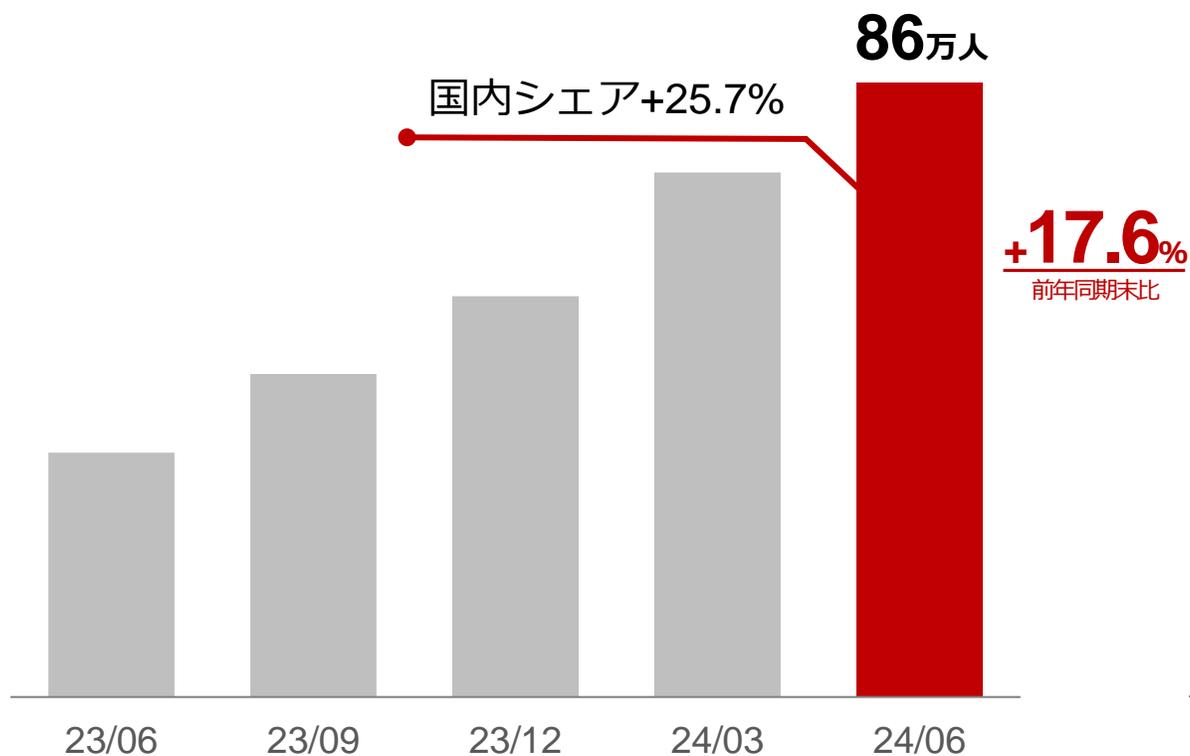
- 投信積立は、楽天グループ連携、新NISAにより拡大
- 積立設定額は2,170億円超（前年同期末比+99.6%）、積立買付額は2,057億円超と順調に成長



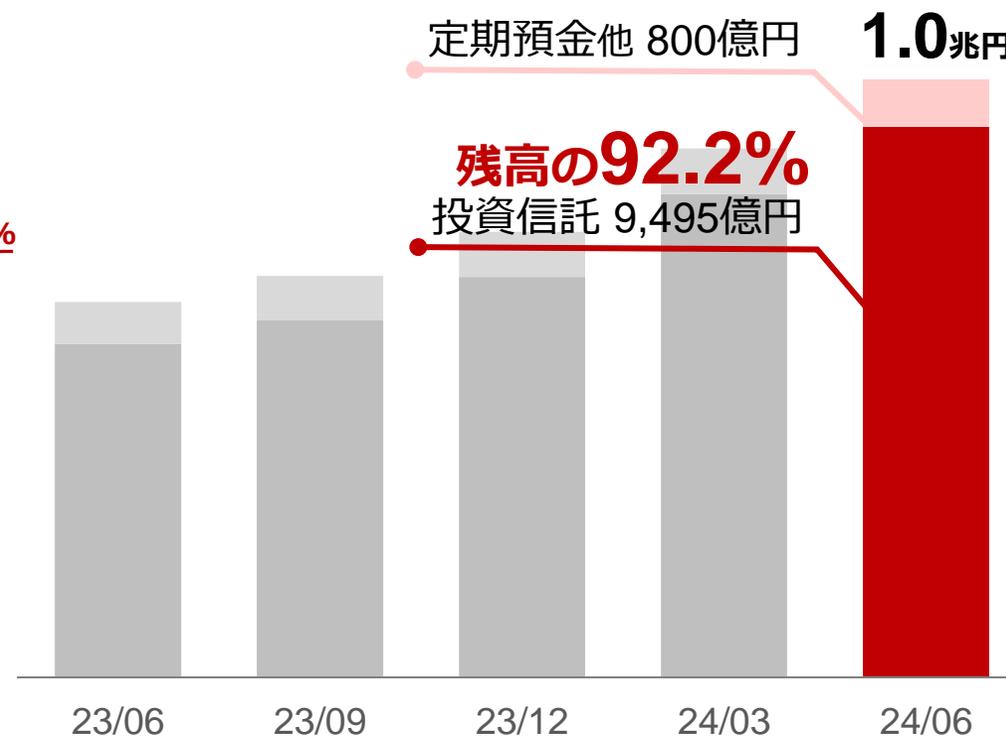
iDeCo（個人型確定拠出年金）

- 加入者、残高は順調に増加。加入者数は86万人を突破し業界2位※、残高は1兆円超に

iDeCo加入者数



iDeCo残高



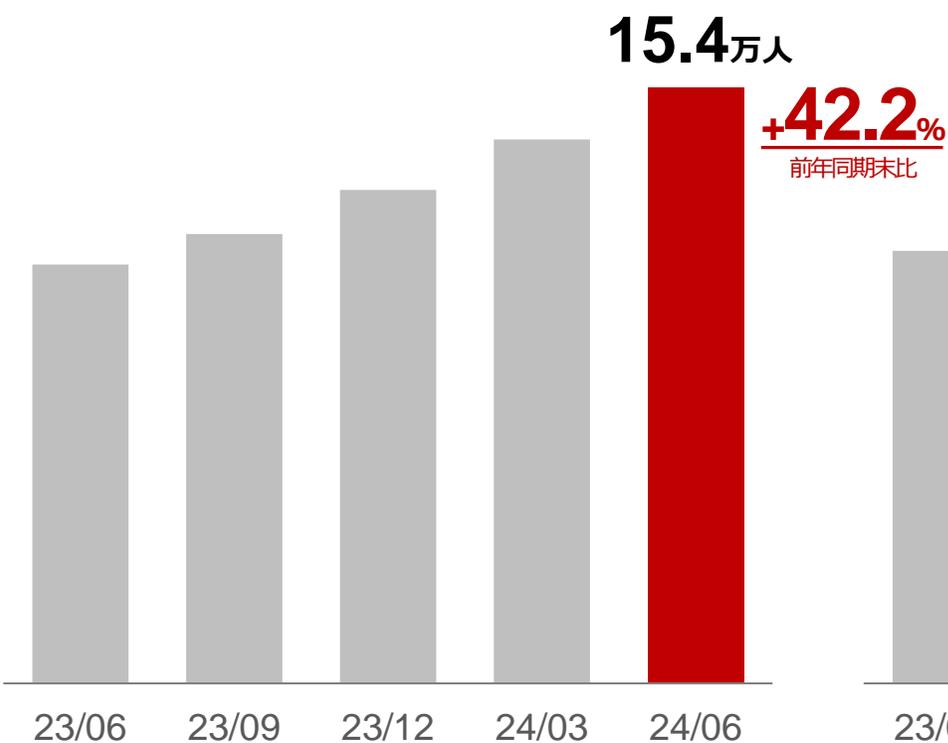
※：国民年金基金連合会メールマガジンの現存加入者数より（2024年6月時点）

*過去に加入・移換・運営管理機関変更された方もすべて対象

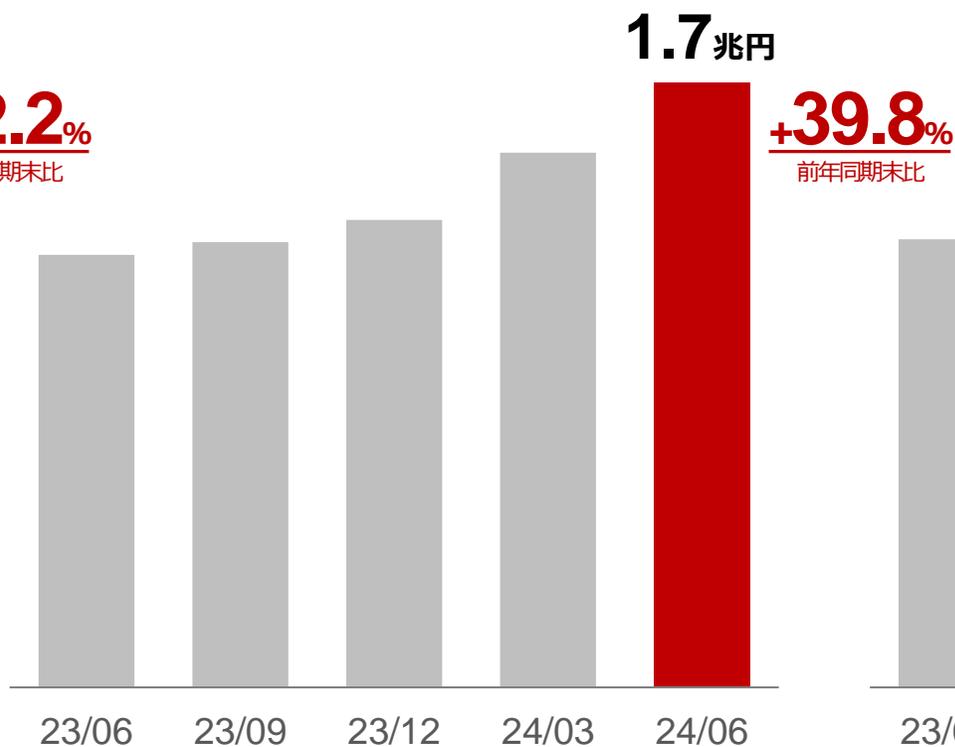
IFAビジネス

- IFA顧客口座数は順調に増加。預り資産残高も前年同期末比+39.8%の1.7兆円にまで拡大
- 契約アドバイザーは、証券のみならず、保険代理店などからの登録も増加し4,019人に

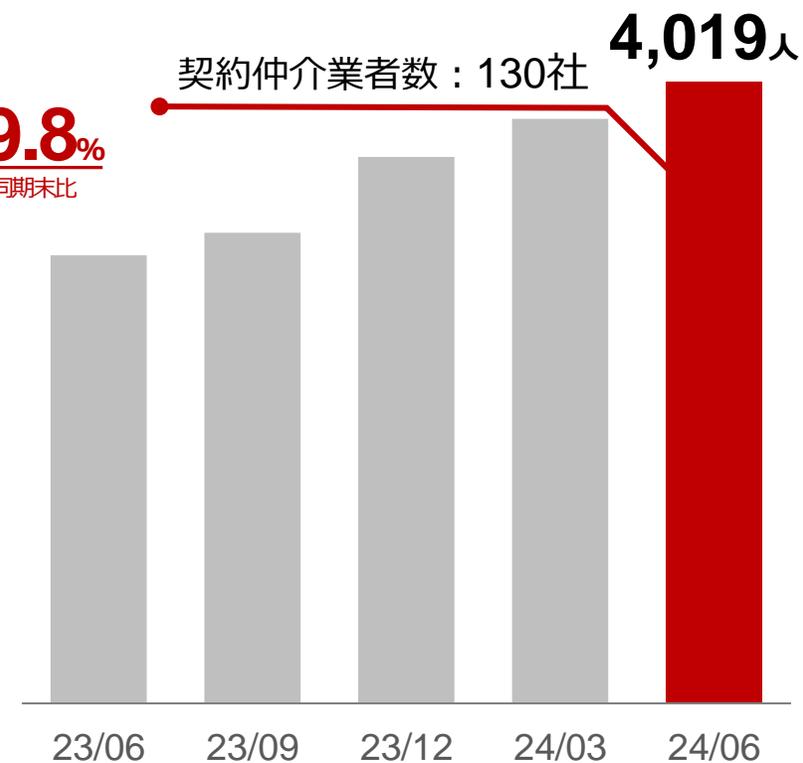
IFA顧客口座数



IFA顧客預り資産残高

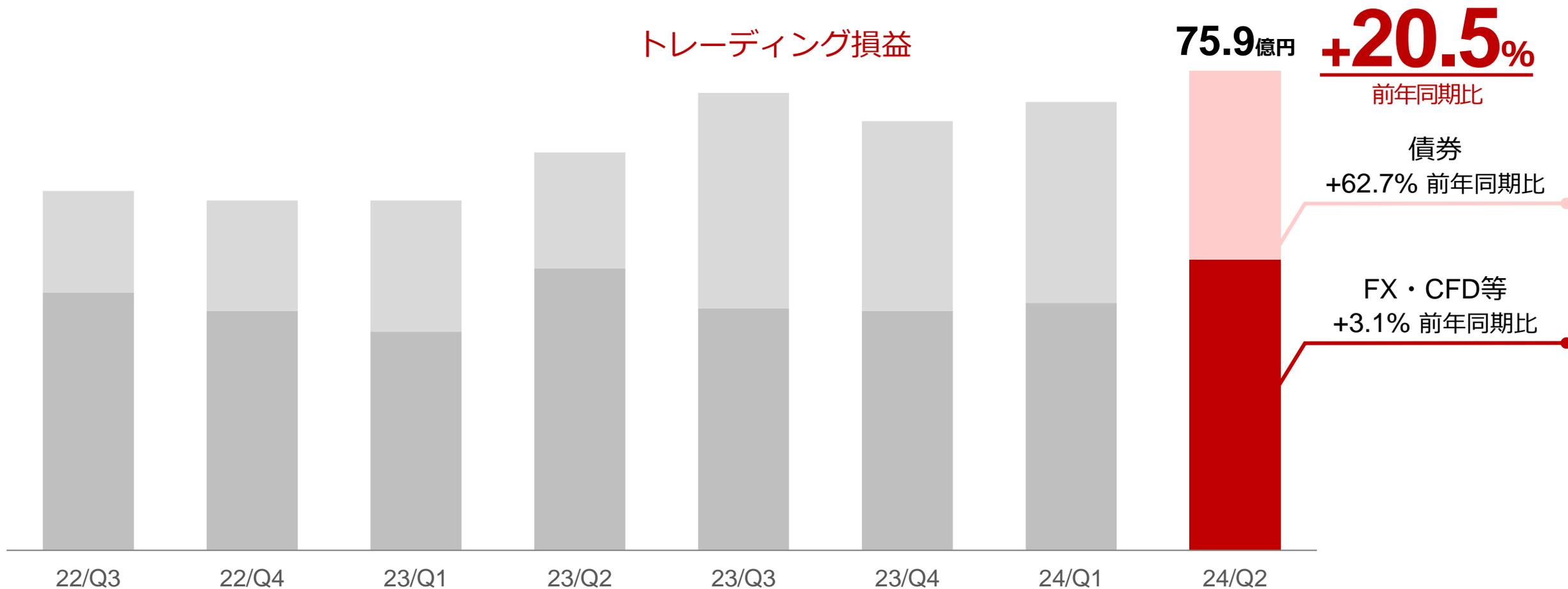


契約アドバイザー数



トレーディング損益

- トレーディング損益は、2024年4-6月期は75.9億円（前年同期比+20.5%）に
- 特に、債券収益は、前年同期比+62.7%に



目次

01

2024年12月期上半期 決算概要

02

2024年12月期上半期 事業の状況

03

戦略・施策

a.株式取引の大衆化

b.新NISA

c.アドバイザーリープラットフォームビジネス

d.その他

目次

01

2024年12月期上半期 決算概要

02

2024年12月期上半期 事業の状況

03

戦略・施策

a.株式取引の大衆化

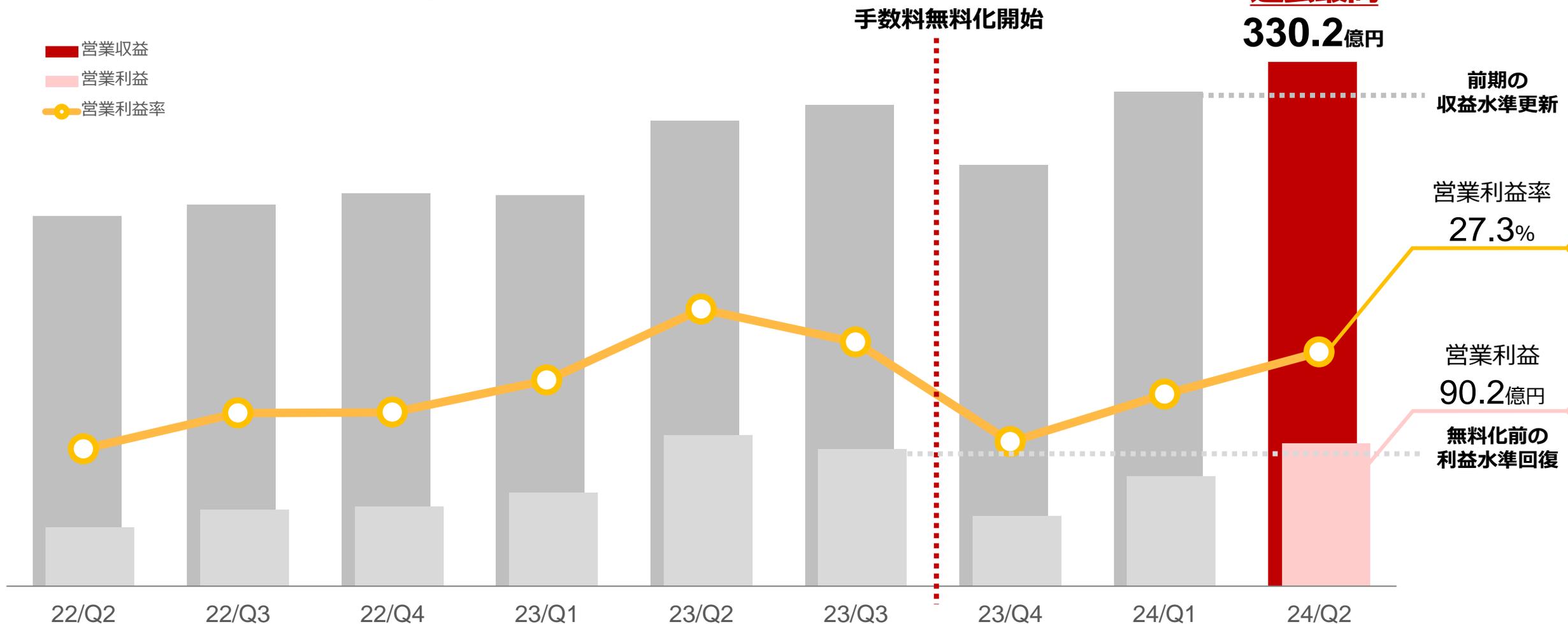
b.新NISA

c.アドバイザーリープラットフォームビジネス

d.その他

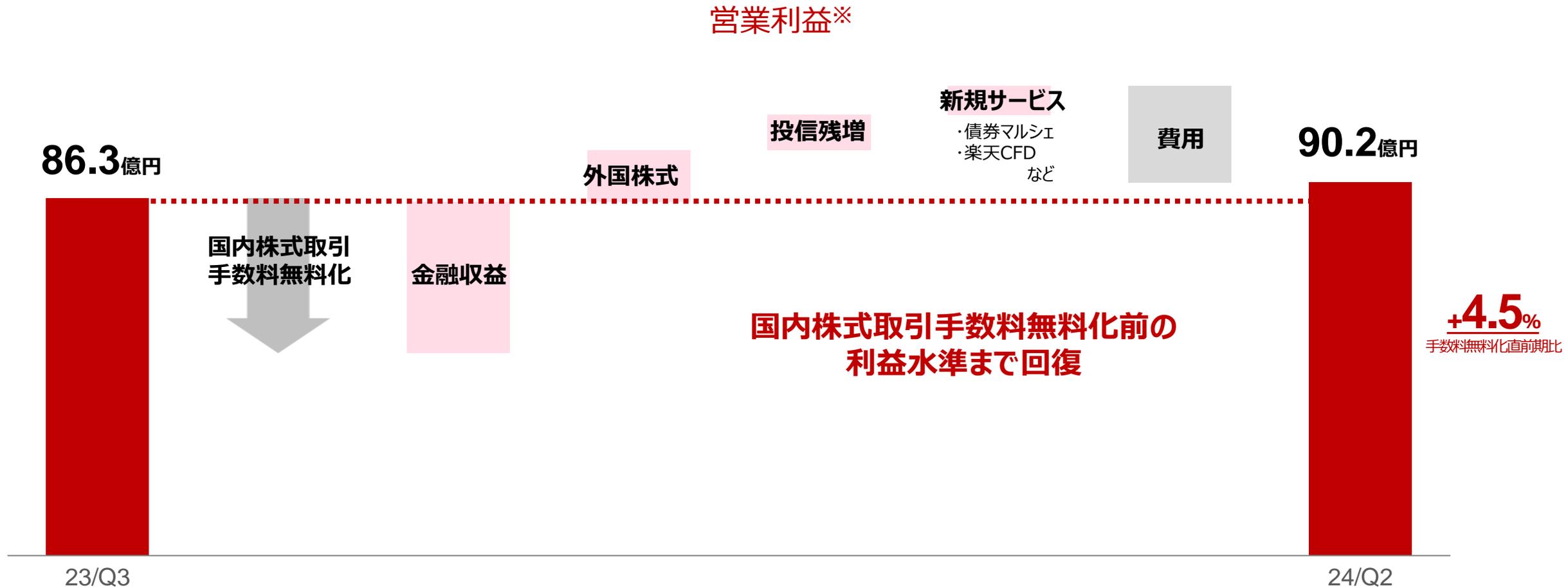
国内株式取引手数料無料化後の営業収益・営業利益・営業利益率※

- 2024年12月期第2四半期は、過去最高の営業収益を記録
- 営業利益は無料化前の水準まで回復



国内株式取引手数料無料化のインパクト（第2四半期）

- 国内株式取引手数料無料化を受け、委託手数料は減収
- 一方、収益源の多様化・新商品の収益力化により、手数料無料化直前期を超える営業利益※を確保



新PTS運営会社 Japan Alternative Market 株式会社について

- 新たに設立され、年内のサービス開始を目指すPTS運営会社、Japan Alternative Market 株式会社に楽天証券ホールディングスとして出資
- 個人の「証券取引のしやすさ」の拡がりを図るため、より有利な価格、柔軟な取引時間に加え、少額投資やグローバルなプロダクトへの投資機会などの提供を目指す



Japan Alternative Market

Concept

複数の証券会社の資本参加を前提に、公平で透明性の高い取引環境の提供を目指す

Service

市場外取引や有利な価格での取引機会のほか、少額投資や国内外プロダクトなど、新しい試みも予定

Status

年内のサービス開始に向け準備中

目次

01

2024年12月期上半期 決算概要

02

2024年12月期上半期 事業の状況

03

戦略・施策

a. 株式取引の大衆化

b. 新NISA

c. アドバイザリープラットフォームビジネス

d. その他

新NISA

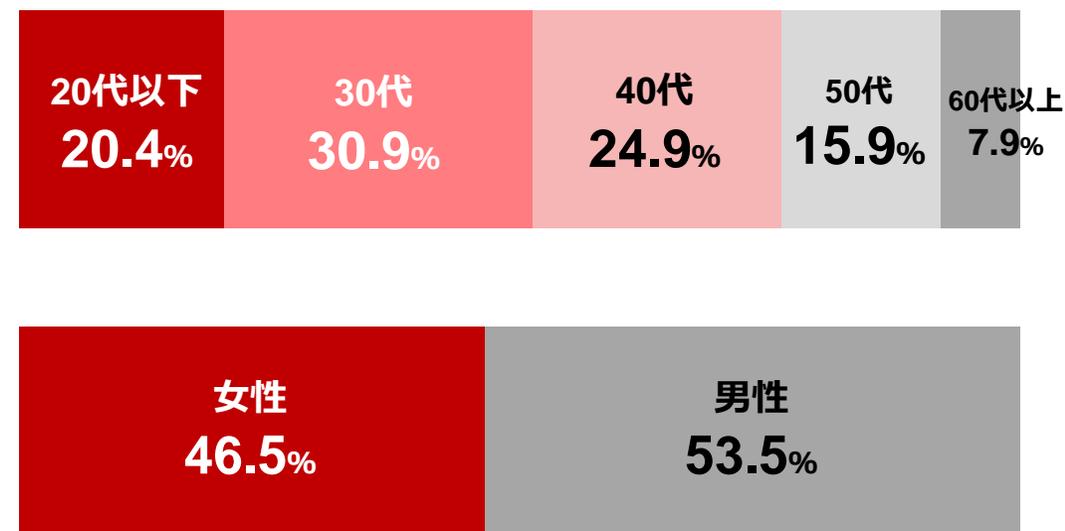
- 2024年6月末時点の新NISA口座は、552万口座
- 新NISA口座開設者は、約半数を30代以下・女性が占める

新NISA口座数（2024年6月末）

	新NISA口座		
	成長投資枠	つみたて投資枠	
口座数	552万	-	-
稼働口座数 (稼働率)	409万 74.1%	178万 32.3%	361万 65.4%

*稼働口座数は2024年1月から6月末までに取引をおこなった、もしくは、残高がある人

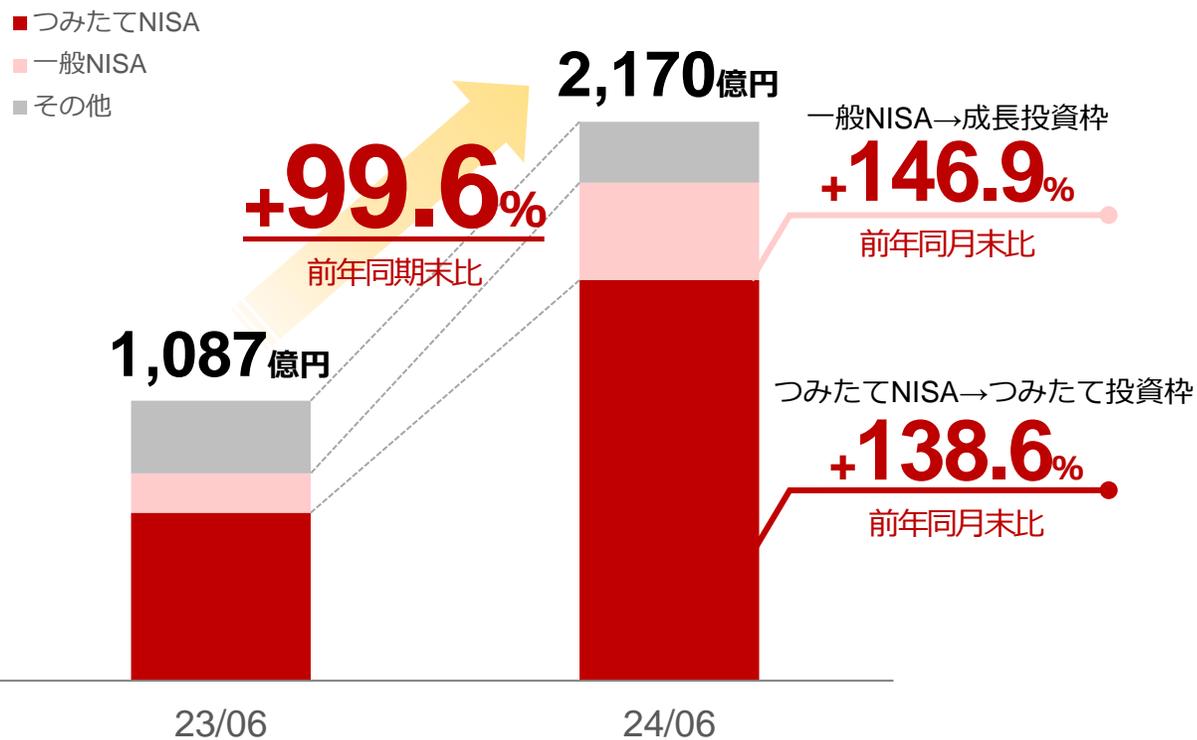
新NISA口座開設者 属性



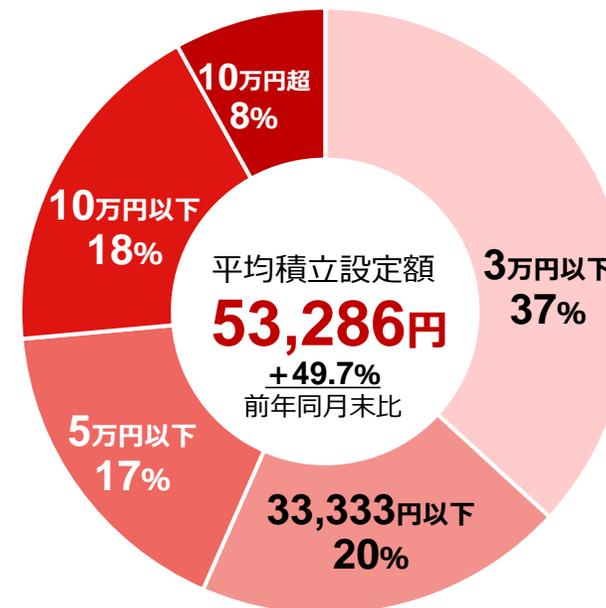
新NISAの効果 投信積立の増加

- 2024年6月末時点の投信積立設定額は、それぞれの投資枠活用により全体で前年同期末比+99.6%
特に、成長投資枠の活用が活発で、同比+146.9%に
- 平均積立設定額は5万円超と前年同期末比+49.7%

投信積立設定額



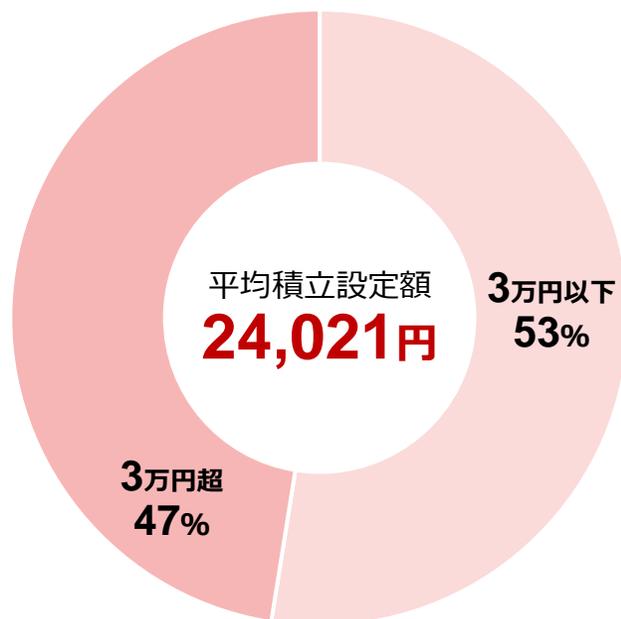
積立設定額
(2024年6月末時点)



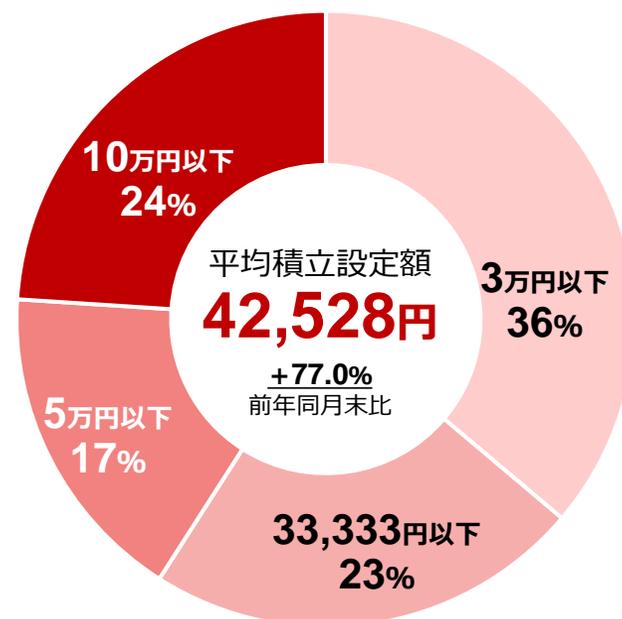
新NISAの効果 投信積立の増加

- 新NISAつみたて投資枠内の積立設定額は、4割超が旧つみたてNISA上限額の33,333円以上に
- 3万円超の積立設定額は、つみたてNISAの47%から64%に増加
- 平均積立設定額は、1.8万円増

つみたてNISA内
積立設定額（2023年12月末）



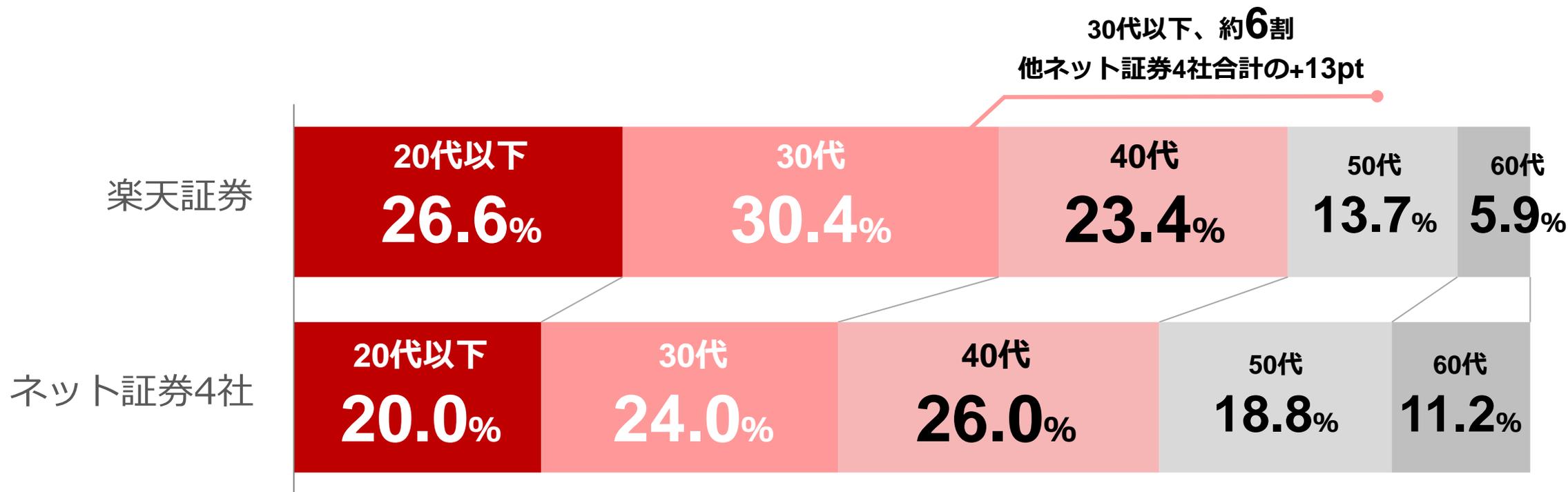
新NISAつみたて投資枠内
積立設定額（2024年6月末）



資産形成サービスの利用

- 楽天証券で資産形成系商品（投資信託・ファンドラップ）を保有するお客様の約6割は30代以下
- 他ネット証券比+13ptと、若年層の資産づくりに活用されている

資産形成系商品（投資信託・ファンドラップ）の年齢別保有比率
(2023年9月末時点)



課題：NISA制度の拡充に向けて

- 新たなNISA制度が開始されて半年。「貯蓄から資産形成へ」の後押しにつながっている
- 多様化するライフプランに沿い、さらに多くの個人がNISAを長期の資産づくりに活用できるよう、今後の制度拡充に期待

NISA制度の拡充案

商品	債券やファンドラップなど、対象商品の拡充
年齢	ジュニアNISAにかわる未成年者への対応 (利用可能年齢の引下げ)
リバランス	保有資産内で(制限付きでの) 枠の再利用
海外居住	出国時のNISA口座保有・資産運用の制限見直し (非課税適用者要件の緩和、非課税適用期間の延長など)
ポータビリティ	金融機関変更時、運用資産の移管の許容

目次

01

2024年12月期上半期 決算概要

02

2024年12月期上半期 事業の状況

03

戦略・施策

a. 株式取引の大衆化

b. 新NISA

c. アドバイザリープラットフォームビジネス

d. その他

IFAプラットフォームビジネスの拡がり

- 地域金融機関や保険代理店などの金融事業者から、化粧品訪問販売や報道機関、士業など非金融事業者まで、幅広いビジネスパートナーとアドバイザリービジネスを展開
- みずほ証券との共同事業会社、MiRaIウェルス・パートナーズを開業
- 2024年7月には、ひろぎんホールディングスの子会社、ひろぎんライフパートナーズとの業務提携開始

**金融機関や保険代理店への
一層の拡大を推進**

**非金融事業者などとの
新しい事業モデルを構築**

地域金融機関

会計士／税理士事務所

大手金融グループ

**Rakuten 楽天証券
プラットフォーム**

報道機関

IFA事業者

鉄道会社

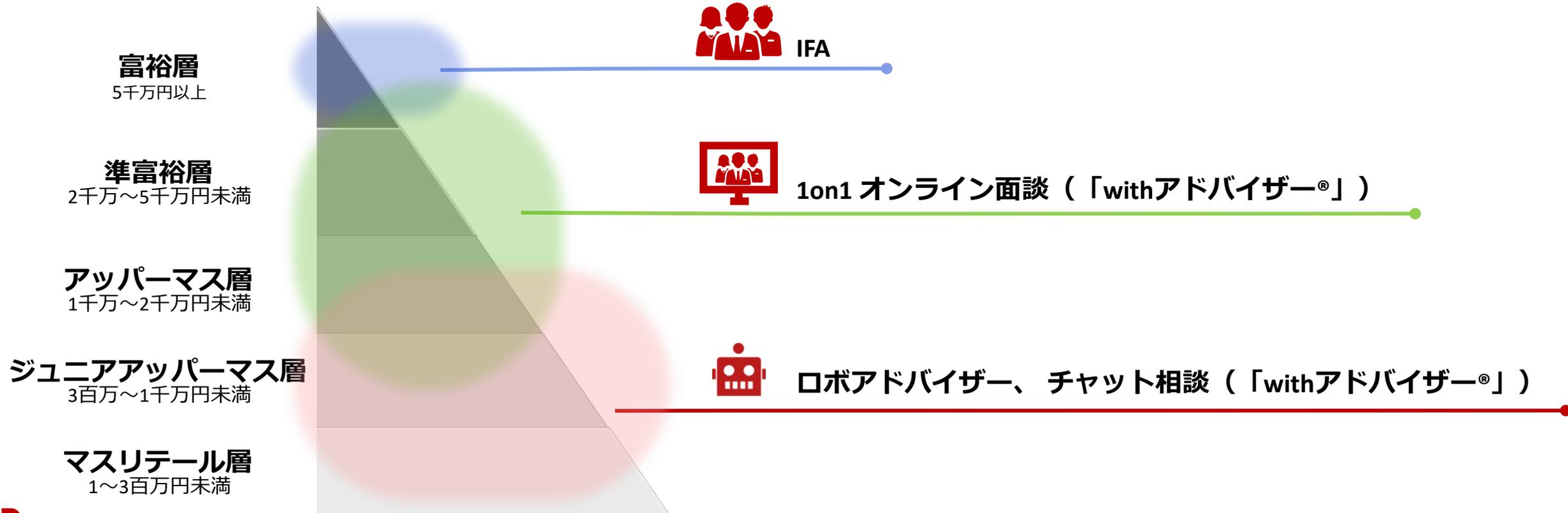
保険代理店

料理教室

化粧品訪問販売

アドバイザーリービジネスの拡がり

- あらゆる層に応じたアドバイザーサービスを展開へ
- 2016年7月に「楽ラップ」（投資一任型）、2021年6月に「らくらく投資」、2024年5月に「ウェルスナビ×R」（両投資信託で運用）をロボアドバイザーとして提供。2023年12月には、オンライン相談可能な「withアドバイザー®」を開始



多様な資産形成サービスを提供

- 2024年4月25日、なかのアセットマネジメントの新規公募投資信託を業界に先駆けて取扱開始
- 2024年5月13日、ウェルスナビとの業務提携により新たなロボアド「ウェルスナビ×R」を提供開始。
NISA（成長投資枠）でも利用可能

NISA対象

なかの日本成長 ファンド *Japan*

国内産業界の高付加価値な成長企業を厳選して
株式投資する特化型運用

基準価額 : **10,332** 円

前日比 : **+0** 円

純資産総額 : **2,053** 百万円

基準日：2024年07月10日

NISA対象

なかの世界成長 ファンド *Global*

世界の優良企業を選別して株式投資を行い、
グローバルな経済成長をしっかり取り込む

基準価額 : **10,871** 円

前日比 : **+4** 円

純資産総額 : **2,082** 百万円

基準日：2024年07月10日

\ ウェルスナビの資産運用を楽天証券で！ /

ウェルスナビ×R

資産運用を
おまかせ
できる！

楽天ポイント
が貯まる！

NISAも
使える！

まずはリスク許容度の診断から！



フィデリティ証券の事業譲受

- 2025年1月1日に、フィデリティ証券の個人向け証券総合口座（特定、一般、NISA）の権利義務を承継し、フィデリティ証券の預り残高（株式、投資信託、預り金など）を楽天証券に移管予定
- 長期にわたる資産形成を第一に考えた商品・サービスを提供してきたフィデリティ証券の当該事業部門社員も楽天証券に承継予定



Rakuten 楽天証券

- 国内株式、外国株式
- 投資信託
- 債券
- 金、プラチナ、銀
- FX、CFD
- 先物・オプション
- IFA、withアドバイザー®

目次

01

2024年12月期上半期 決算概要

02

2024年12月期上半期 事業の状況

03

戦略・施策

a.株式取引の大衆化

b.新NISA

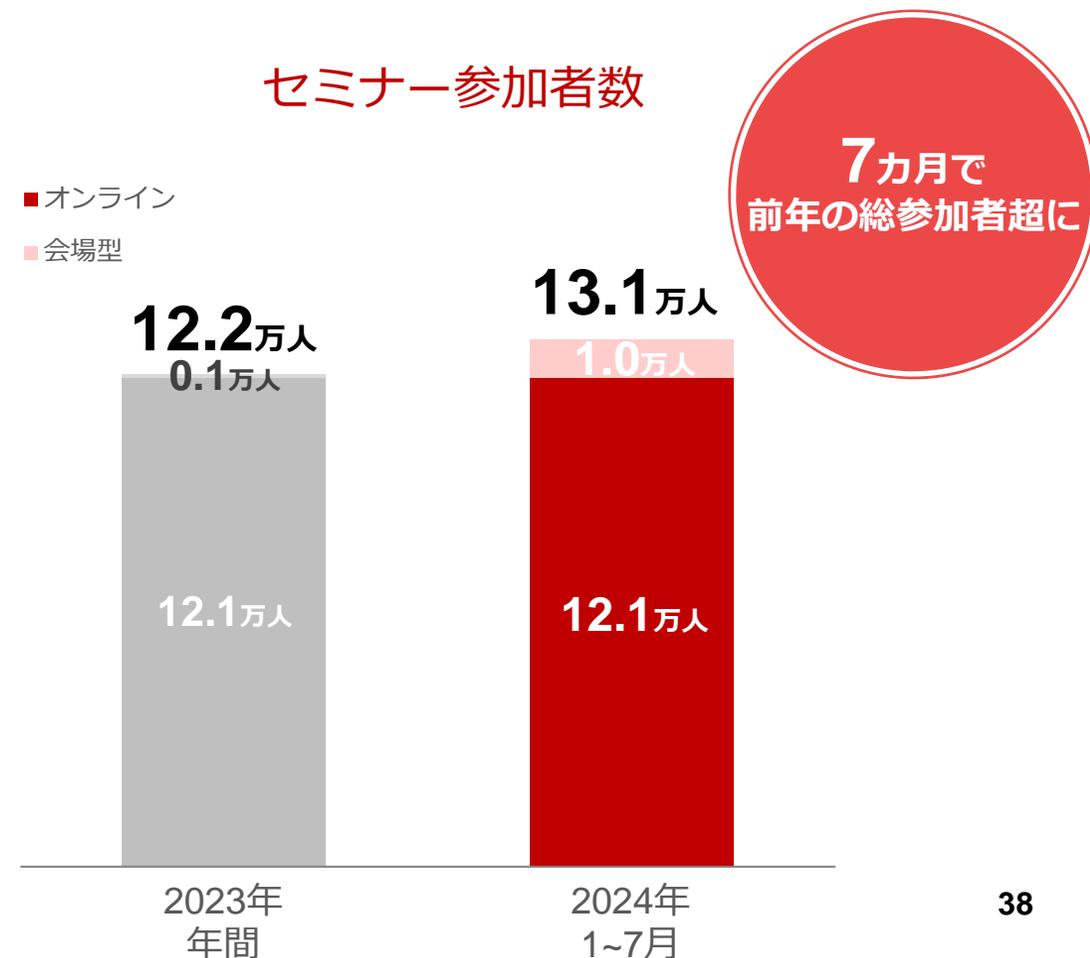
c.アドバイザーリープラットフォームビジネス

d.その他

金融経済教育：オンライン・オフラインセミナー強化

- あらゆる層に向けた情報発信を、適切なチャネル・頻度で実施
- 2024年1-7月期のセミナー参加者数は、すでに2023年間の参加者数を抜き、13.1万人に
- 下半期も各種セミナーなどを通じた金融経済教育活動を実施予定

若年層	「資産づくりスクール™」、 親子向けセミナー、SNS
初心者層	「資産づくりカレッジ™」、 NISA・iDeCo関連セミナー、SNS
中上級者層	「株式投資アカデミー」、 「FX・CFDアカデミー」、 トウシルYouTube、SNS



金融経済教育：「資産づくりカレッジ™」・「資産づくりスクール™」

- 投資初心者の方向けに、次のステップやゴール設定の方法などが学べる年間プログラム「資産づくりカレッジ™」第2期を開講中
- 大学生向け、親子向けなど、お客様需要にあわせた各種コースを組み合わせ実施
- 小学生向けに「資産づくりスクール™」を2024年8月から実施、オンラインでお金についての学びの機会を提供

お客様需要にあわせて、以下のコースを組み合わせ実施

「資産づくりカレッジ™ for Family」



共通コース

ポートフォリオ理論の基礎が分かるコースです。

投資信託コース

投資信託に精通するレベルを目指すコースです。

個別株コース

個別株やその他取引へのレベルアップを目指すコースです。



金融経済教育：オンライン・会場型セミナーの開催

- 2024年は、日本各地でのセミナーを再開
- お客様のご相談に直接お答えできるブースなども設け、個々のお悩み・手続き相談などに対応

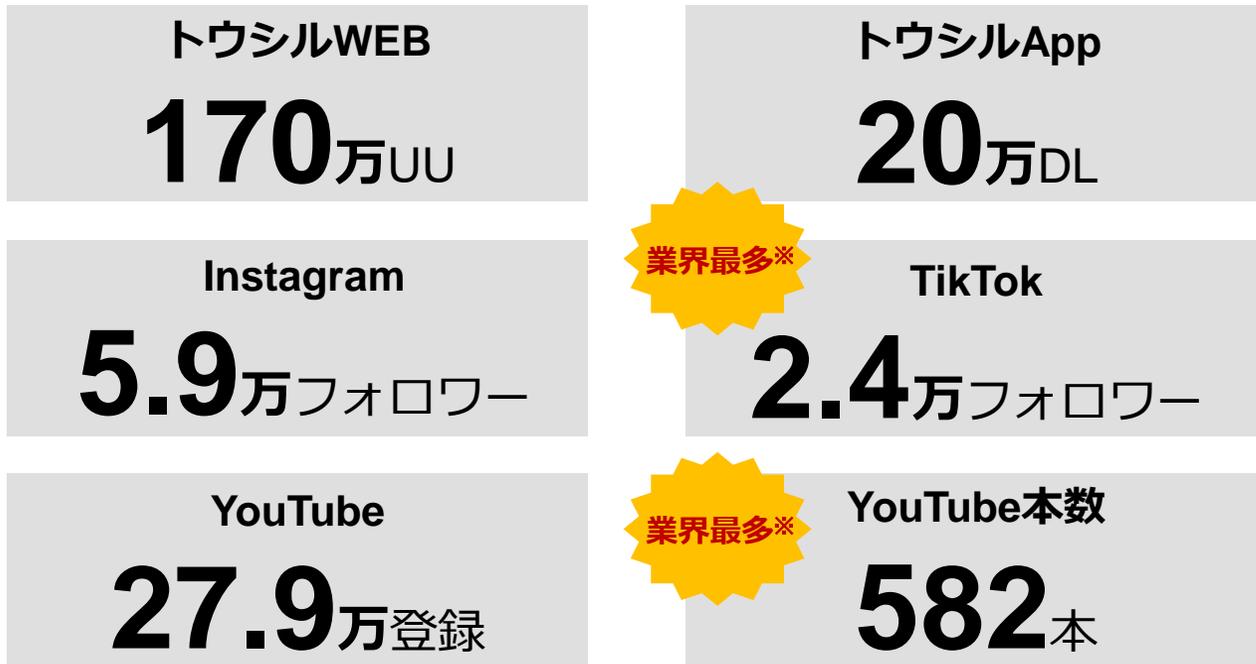


金融経済教育：トウシル／YouTube／SNS

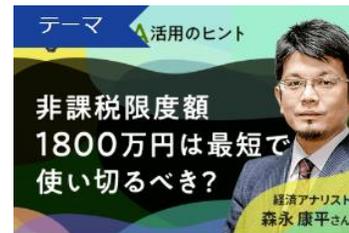
- 「トウシル」は2017年の開始以来、“お金と投資をもっと身近に！”をコンセプトに、経済や相場、NISAなどの解説だけでなく、ライフプランや生活のお役立ち情報など幅広い情報を発信
- ご利用者の属性や金融知識、情報チャネルの多様化にあわせ、オンライン記事やYouTube動画だけでなく、Instagram、TikTokなどのSNSでのコンテンツ配信を強化

2024年1-6月 トウシル人気記事と動画

新NISA開始に伴い、制度の使い方や資産形成への向き合い方に加え、投資信託や株主優待の選び方、基本的な注文方法のコンテンツが人気に



*2024年6月末時点。YouTubeの動画本数は2024年1～6月の配信本数



新NISA非課税投資額
「1800万円」は最短で使い切るべきか？



日経平均最高値更新！やってはいけない！高値更新時のNG行動3選！



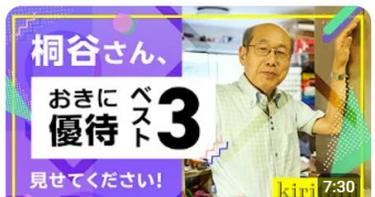
「指値（さしね）」「成行（なりゆき）」とは？株の注文方法の使い方。メ...



【テスタ氏×後藤 達也氏】1億総投資家時代、僕たちはどう歩く？/楽天証...
12万回視聴・2週間前



【新NISA】S&P500とオールカントリーどっちがいい？全世界株との徹底...
9.4万回視聴・4か月前



桐谷さんの優待生活に突撃！①～桐谷さん、おきに優待ベスト3見せてくだ...
9.2万回視聴・3週間前



※：主要ネット証券（口座数上位5社：auカブコム証券、SBI証券、松井証券、マネックス証券、楽天証券（五十音順））で比較（2024年8月6日、楽天証券調べ）

金融経済教育：25周年記念セミナー

- 25周年を記念して、東京国際フォーラムで2日間、「楽天証券25th ANNIVERSARY FES」を開催
- 延べ約40,000人（会場：7,000人、オンライン33,000人）が参加
- キッズコーナーなども設置、ご家族での参加者も増加



〈みずほ〉との協業

- 2024年3月、みずほ銀行との連携サービス「らくらく入金」サービスを開始
- 2024年4月23日（火）、楽天証券とみずほ証券の共同事業会社として、金融商品仲介業者「MiRaIウェルス・パートナーズ株式会社」開業
- ECM27件・DCM16件の共同案件に加え、TOB 復代理人業務を開始

2024年1-6月 楽天証券 × 〈みずほ〉 新協業案件

みずほ銀行との連携でシームレスに資金移管可能に

共同事業会社（金融商品仲介業者）設立

MIZUHO

みずほ銀行

Rakuten

楽天証券

「らくらく入金」



MiRaI
ウェルス・パートナーズ

MIZUHO
みずほ証券

Rakuten
楽天証券

誠実さ
Integrity

MiRaI
ウェルス・パートナーズ



受賞：顧客満足度No.1（J.D. パワー、オリコン顧客満足度）

- 「J.D. パワー2024年個人資産運用顧客満足度調査SM」〈ネット証券部門〉、
「2024年 オリコン顧客満足度[®]ランキング ネット証券」でそれぞれNo.1を受賞

お客様のお声

「J.D. パワー2024年個人資産運用顧客満足度調査SM」 「2024年 オリコン顧客満足度[®]ランキング ネット証券」



「口座情報」や
「顧客対応」、
「商品・サービス」など
多くのお客様からの
ご評価をいただきました



「サイトの見やすさ」や
「商品の豊富さ」、
「ツールの使いやすさ」など
幅広い年代のお客様からの
ご評価をいただきました

受賞：NISA顧客満足度No.1（J.D. パワー、オリコン顧客満足度）

- 「J.D. パワー2024年NISA顧客満足度調査SM <ネット証券部門>」※、
「2024年 オリコン顧客満足度[®]調査『新NISA 証券会社』」ランキングでそれぞれNo.1を受賞

お客様のお声

「J.D. パワー2024年NISA顧客満足度調査SM <ネット証券部門>」※



「運用実績・投資限度額など、
情報のわかりやすさ」や
「運用のしやすさ」、
「NISAに関する豊富な情報」
など

多くのお客様からの
ご評価をいただきました

「2024年 オリコン顧客満足度[®]ランキング 『新NISA 証券会社』」



「ポイントのたまりやすさ」や
「NISAでの運用のしやすさ」、
「はじめてでも使いやすい」など
幅広い年代のお客様からの
ご評価をいただきました

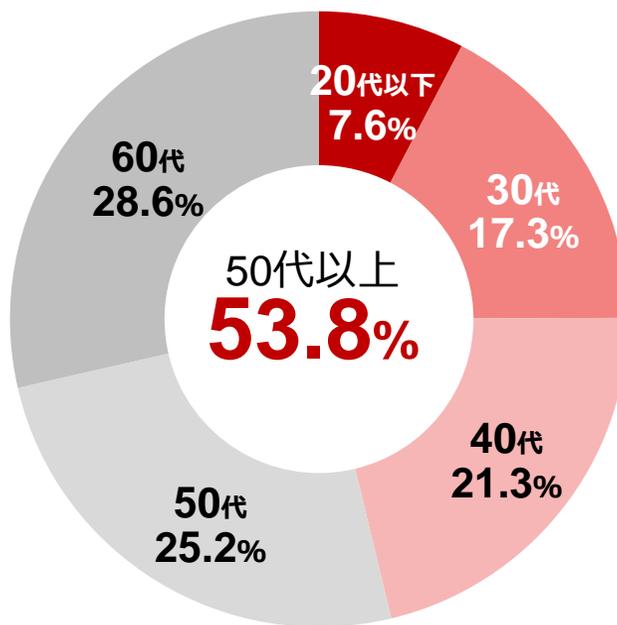
課題：国内株式投資活性化に向けた少額投資の必要性

- 東京証券取引所に上場する銘柄のうち、約50銘柄が投資単位が100万円以上。上位10銘柄は、NISA成長投資枠の上限（240万円／年）を超える
- 楽天証券で、単元株 価格上位10銘柄を保有するお客様の53.8%が50代以上

単元株 価格上位銘柄

	銘柄名	売買代金／単元 (円)
1	SMC	7,415,000
2	キーエンス	6,589,000
3	ディスコ	4,946,000
4	ファーストリテイリング	4,165,000
5	MARUWA	4,060,000
6	東京エレクトロン	3,102,000
7	光通信	2,821,000
8	レーザーテック	2,683,000
9	シマノ	2,673,000
10	ローツエ	2,485,000

楽天証券 単元株価格上位銘柄
保有者属性



楽天証券 国内株式取引上位銘柄

	銘柄名	売買代金／単元 (円)
1	レーザーテック	2,683,000
2	ディスコ	4,946,000
3	ソフトバンクグループ	916,200
4	名村造船所	200,100
5	ソシオネクスト	307,800
6	東京エレクトロン	3,102,000
7	北海道電力	101,950
8	三菱UFJフィナンシャルG	175,000
9	トヨタ自動車	294,900
10	三菱重工業	183,000



*株価：2024年7月31日終値

*2024年6月末時点

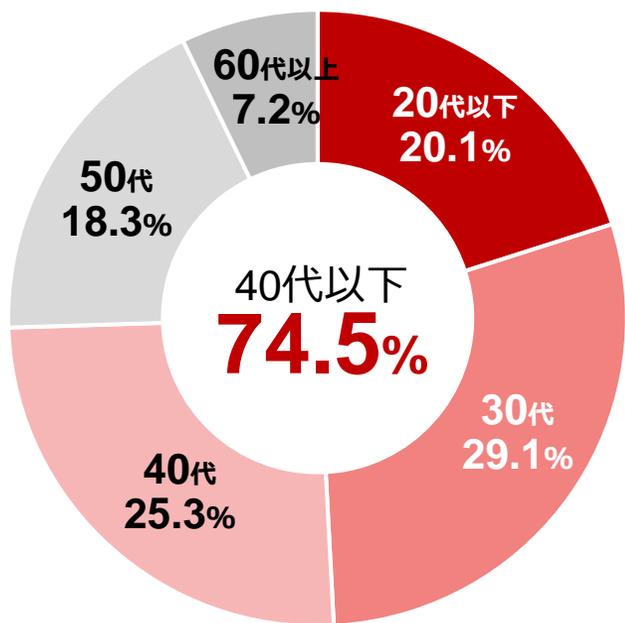
*水色：売買代金／単元 240万円以上の銘柄

*期間：2024年6月1～31日、株価：2024年7月31日終値

課題：国内株式投資活性化に向けた少額投資の必要性

- 「かぶミニ[®]（単元未満株取引）」の取引者の8割弱を40代以下が占める
- 「かぶミニ[®]（単元未満株取引）」の取引上位10位銘柄のうち6銘柄は単元株では50万円以上

楽天証券 「かぶミニ[®]」取引者属性



楽天証券 「かぶミニ[®]」取引上位銘柄

	銘柄名	1約定あたり株価 (円)
1	レーザーテック	161,339
2	ディスコ	256,854
3	東京エレクトロン	142,780
4	日立	89,863
5	トヨタ自動車	222,060
6	日本たばこ産業	26,794
7	三井住友フィナンシャルG	58,630
8	三菱商事	16,756
9	ソフトバンクグループ	67,325
10	任天堂	51,880

上位10銘柄中 **6銘柄**
単元株価50万円以上の銘柄

目次

01 2023年12月期 決算概要

02 2023年12月期 事業の状況

03 戦略・施策

04 Appendix

新規口座開設者 属性

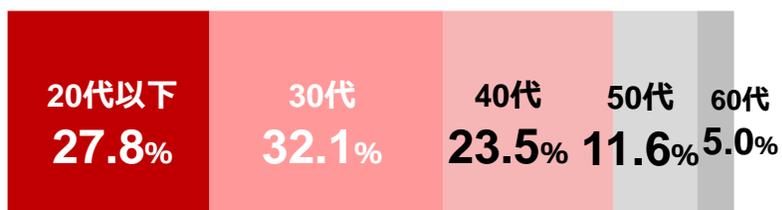
- 若年層（30代以下 53.9%）・女性層（50.3%）・初心者（83.4%）を中心に幅広く口座獲得
- 投資・資産形成がより大衆に浸透

年代

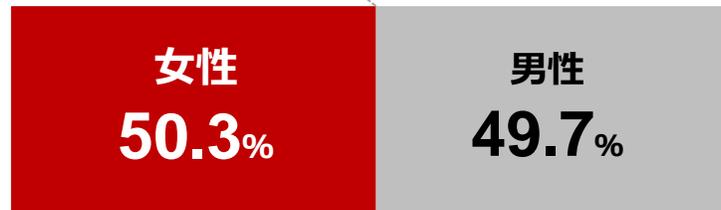
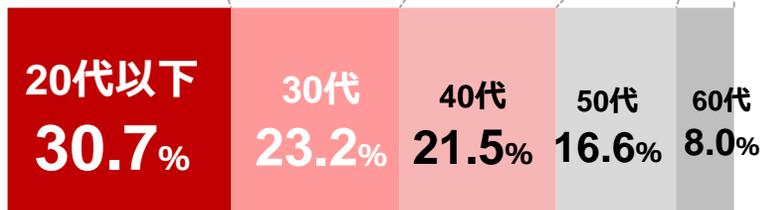
性別

投資経験

2019年
1-6月



2024年
1-6月



20代以下は、**3割超**
30代以下は、**5割超に**

女性比率、**5割超に**

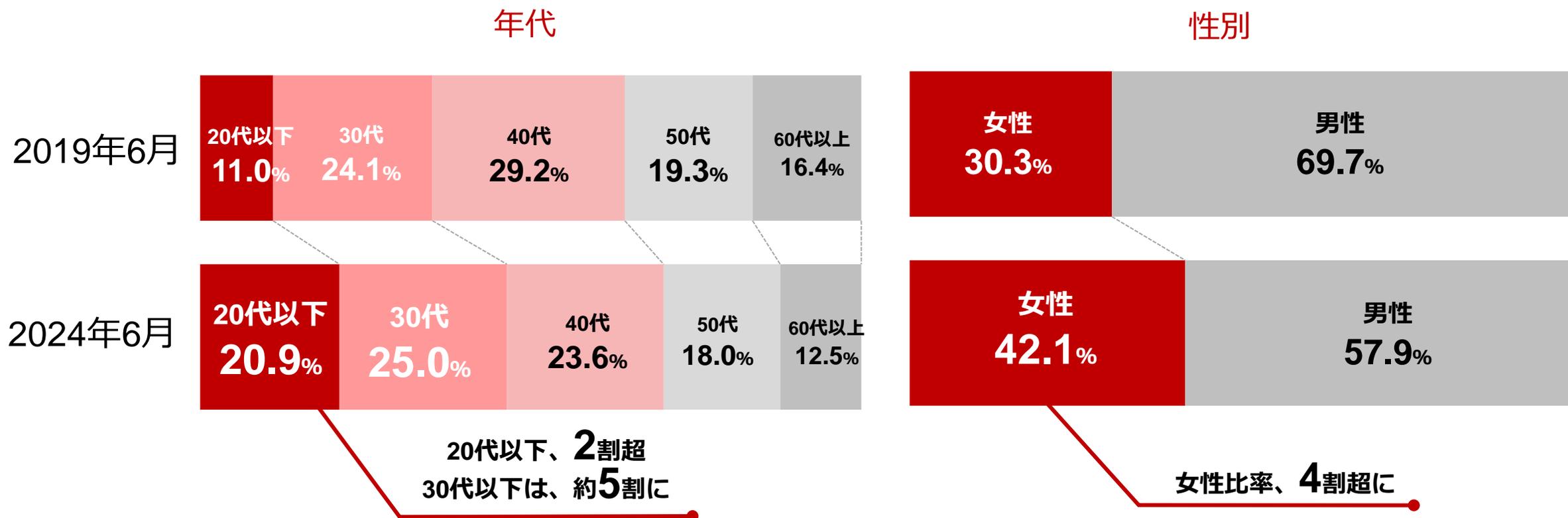
初心者比率、**8割超に**



*楽天証券の口座開設時アンケートにて、投資経験無しとの回答があったお客様を初心者、投資経験有りとの回答があったお客様を経験者と定義

既存口座開設者 属性

■ 若年層（30代以下 45.9%）・女性層（42.1%）の顧客属性分布に

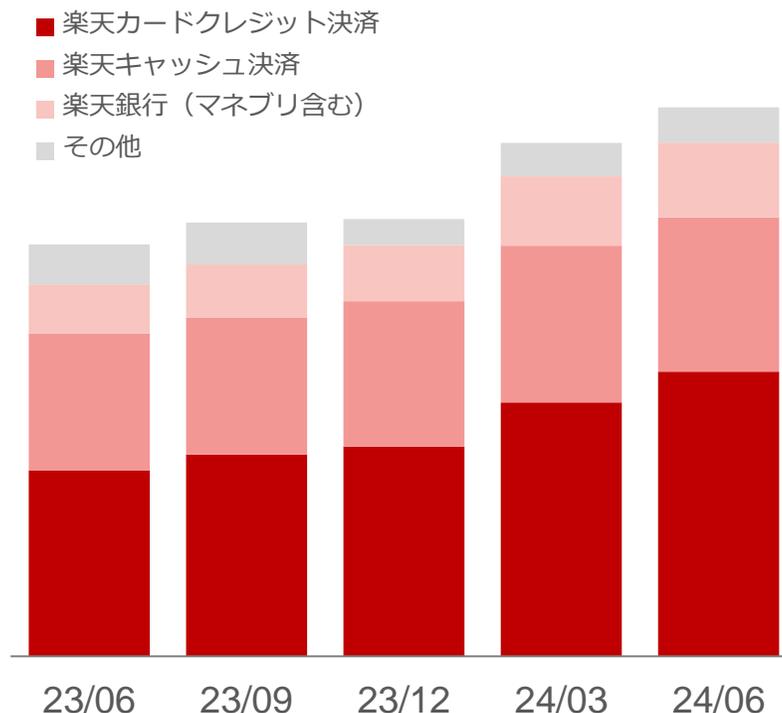


楽天エコシステム×投信積立：「楽天カード」、「楽天キャッシュ」決済

- 2018年10月末より「楽天カード」クレジットカード決済サービスを開始、2024年3月（同年4月積立購入分）から、上限額を月10万円に引上げ
- 2022年6月末より「楽天キャッシュ」決済サービスを開始
- 楽天グループ連携の決済手段利用者は、投信積立利用者の93.6%



投信積立設定者数に占める楽天グループ連携決済



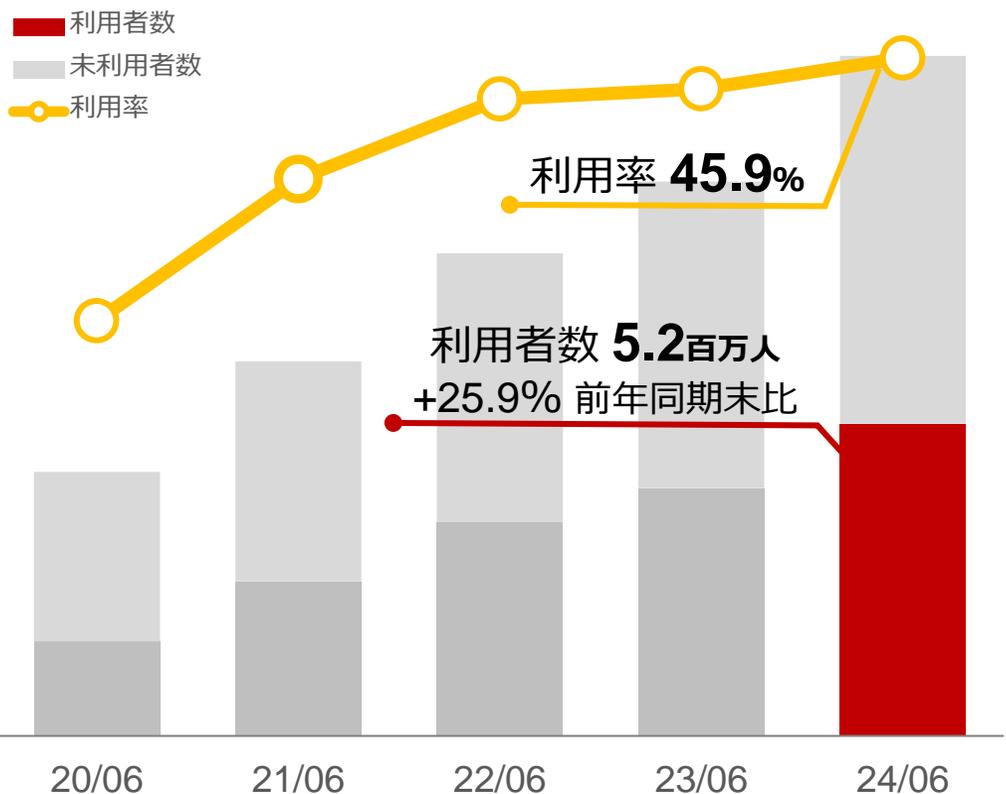
楽天グループ連携
決済手段利用者

93.6%

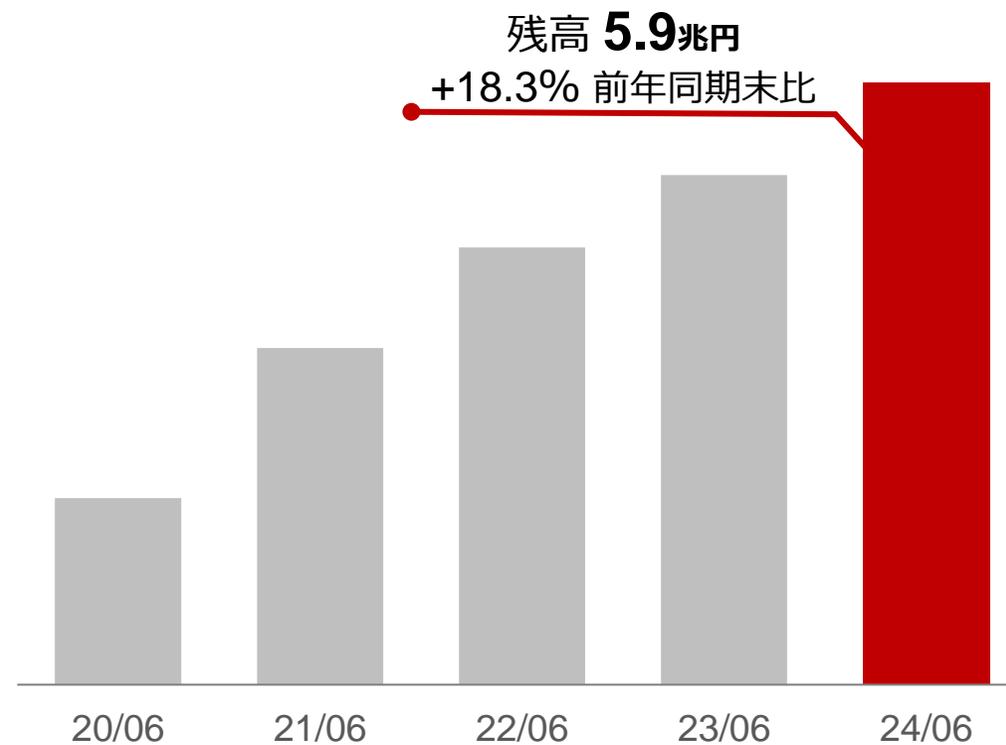
楽天銀行との連携：「マネーブリッジ」 楽天証券×楽天銀行の口座連携

- 「マネーブリッジ」利用者数は、前年同期末比+25.9%の5.2百万人に
- 本サービス利用者の普通預金残高は、前年同期末比+18.3%の5.9兆円

楽天証券「マネーブリッジ」利用者



「マネーブリッジ」利用者の普通預金残高



ポイント活用

- 2017年8月に「ポイント投資（投資信託）」を開始し、2018年9月より投信積立での利用開始
- 2024年6月時点で稼働口座の6割超がポイントを活用

投資で楽天ポイントを貯められる！

R SPU!

投信積立

ハッピープログラム

キャンペーン

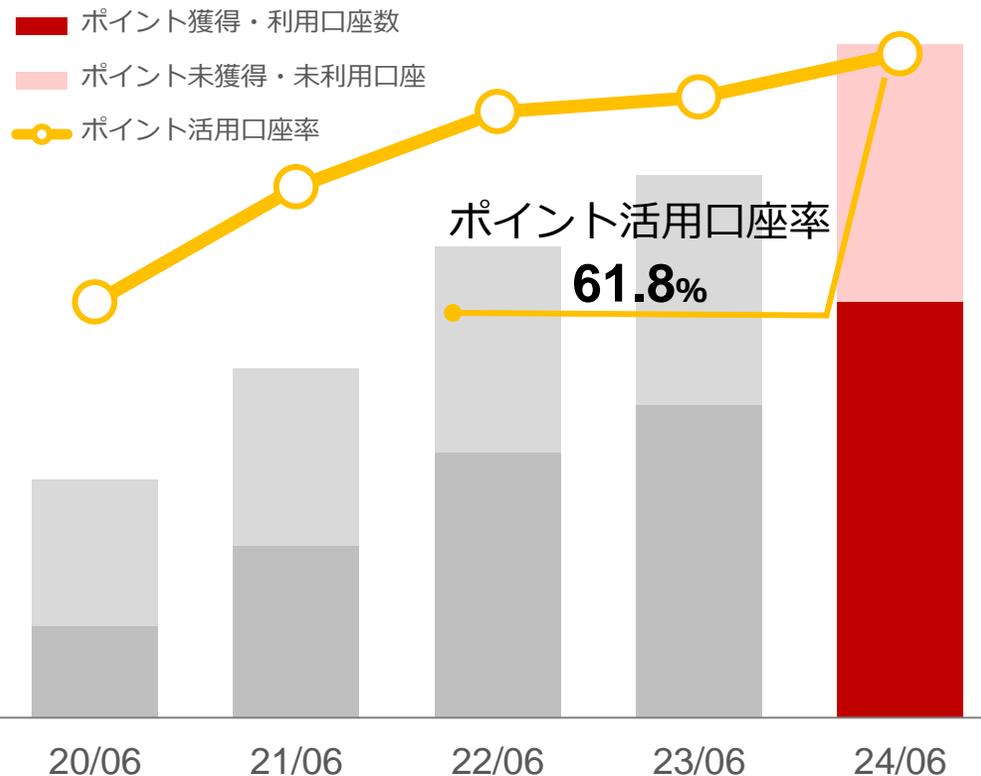


楽天ポイントで投資ができる！

ポイント投資



ポイント活用状況

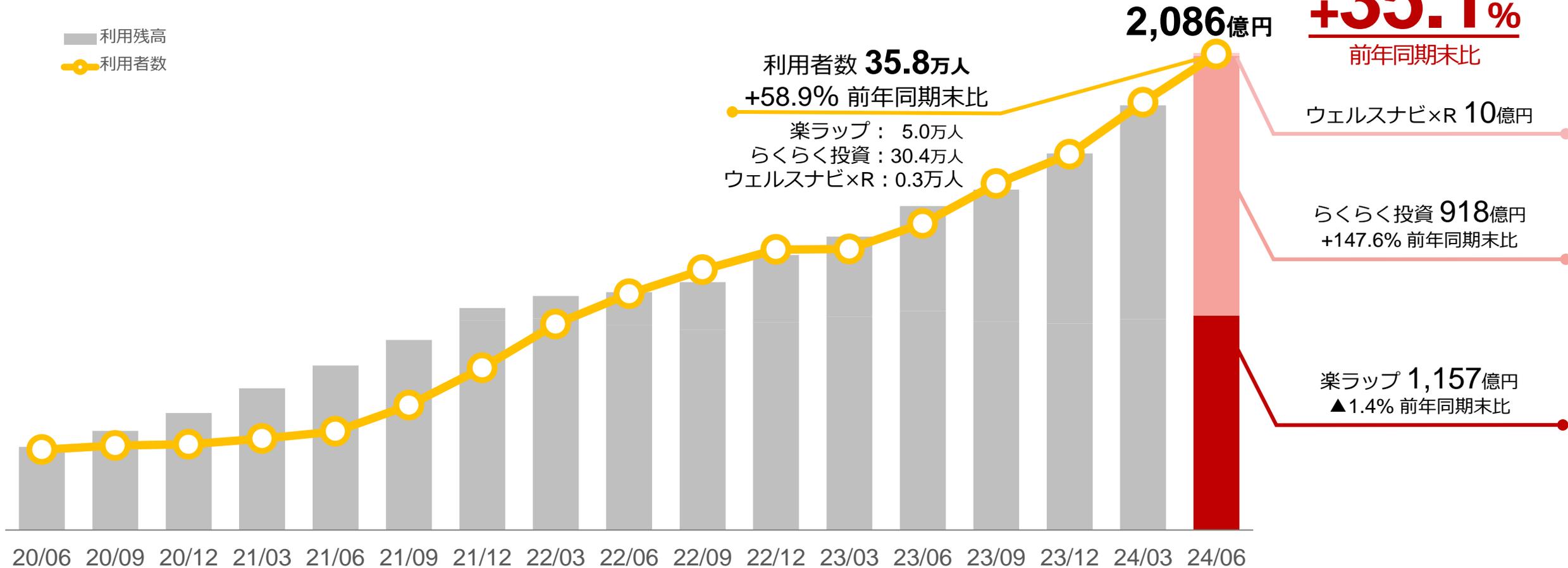


*ポイント活用口座率：稼働口座に占めるポイント獲得・利用口座の割合

ロボアドバイザー 「楽ラップ」、「らくらく投資」、「ウェルスナビ×R」

- 3つのロボアドバイザー（投資一任型「楽ラップ」、資産形成型「らくらく投資」、「ウェルスナビ×R」）の利用者数は35.8万人（前年同期末比+58.9%）、残高は2,086億円（前年同期末比+35.1%）と大きく増加

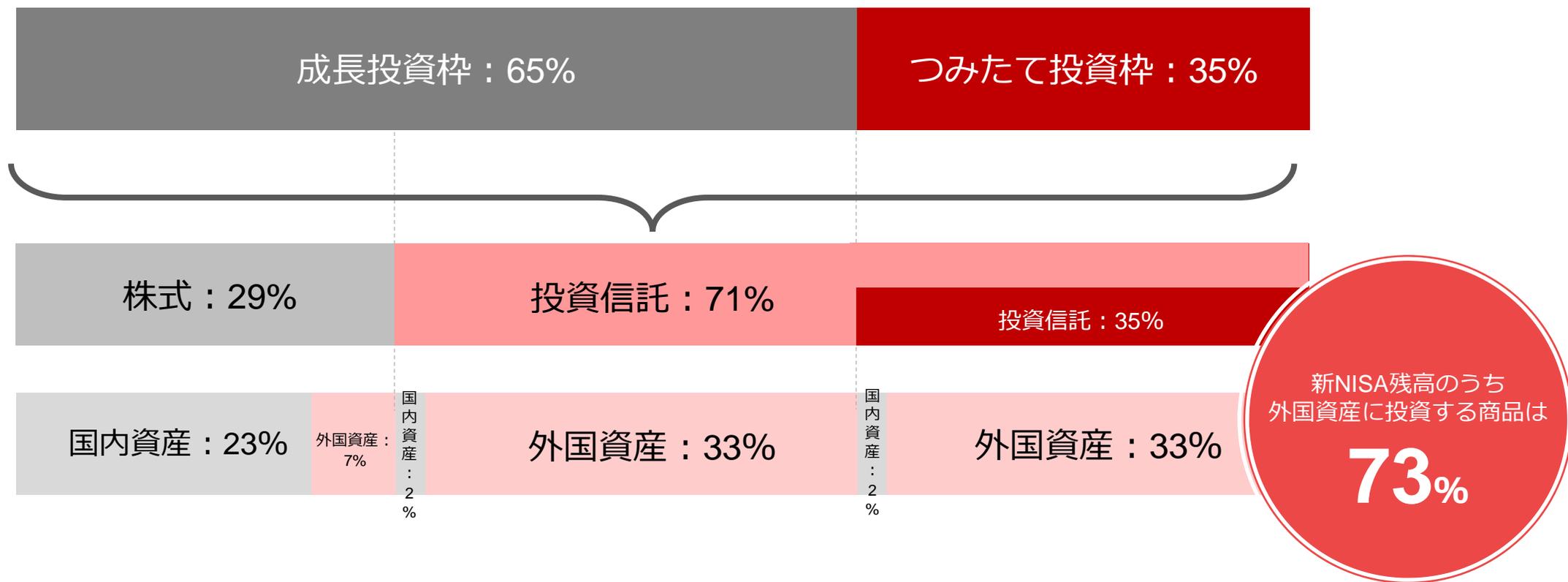
ロボアドバイザーの残高と利用者数



新NISA 投資商品の特徴

- 投資商品は、投資信託が7割超、次いで国内株式が2割超に
- 特に、外国資産の割合は7割超と、外国資産への投資を視野に新NISAを活用される方が多数

新NISAに占める残高（約2.6兆円）の内訳（2024年6月末時点）



R *残高：2024年6月30日約定ベース
*外国資産：外国株式および、外国資産に投資する投資信託（オルタナティブ、バランスファンド除く）

本資料に記載されている事項は、当社のご案内の他、事業戦略等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する株式もしくは親会社である楽天グループ株式会社の発行する株式、その他の有価証券への投資の勧誘を目的としたものではありません。本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることを御承知おきください。文中に記載の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

楽天証券株式会社

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者、銀行代理業許可：関東財務局長（銀代）第302号、確定拠出年金運営管理機関 登録番号774

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

Rakuten 楽天証券